

# 小山市 中地区

## 風土性調査

### 「田園環境都市おやま」のまちづくりに向けた アンケート調査 集計結果報告

実施 2024/令和6年5月～7月

#### 実施方法1

- ・6月初旬配布：広報配布時に、自治会/各班に仕分けし、班ごとの通い袋に入れて、各世帯に班長さんより配布していただいた。
- ・6月28日を締切とし、自治会のご協力で回収412通（母数673：回収率：61.2%）

#### 実施方法2

- ・紙の調査票の郵送と並行して、インターネットで回答をいただけるように、各世帯への依頼書に、グーグルフォームの二次元コードを記載した。
- ・締め切りは7月15日とし、3名の回答があった。

#### 回答数

- ・上記合計415名の回答により集計を行った。

2024/9/13

小山市総合政策部田園環境都市推進課 実施・集計/有限責任事業組合 風景社

## P03 依頼書と調査票

## P10- 1. 回答者の基本情報

- 01 性別    02 年齢    03 世帯の人数    04 職業    05 お住まいの大字  
06 地域活動の経験    07 中地区との関わり

## P13- 2. 現在の生活圏

## P15- 3. 地域資源への認知度・関心度 [単純集計]

## P17- 3. 地域資源への認知度・関心度 [年代別クロス集計]

## P20- 4. 地区の困りごと [単純集計]

## P21- 4. 地区の困りごと [年代別クロス集計]

## P22- 4. 地区の困りごと [自由記述]

## P26- 5. 地区で大切に守りたいもの [単純集計]

## P27- 5. 地区で大切に守りたいもの [年代別クロス集計]

## P28- 5. 地区で大切に守りたいもの [自由記述]

## P30- 6. 暮らしの価値観 [単純集計]

## P31- 7. 望ましい小山市の都市環境のあり方 [単純集計]

## P32- 7. 望ましい小山市の都市環境のあり方 [自由記述：テーマごとに分類して掲載]

## 1 | 都市環境のあり方について

- |                        |                       |
|------------------------|-----------------------|
| 1 自然環境の保全や気候変動への対策について | 2 田園環境と都市環境の調和・連携について |
| 3 農業について               | 4 商工業の誘致と振興について       |
| 5 都市部の開発と生活環境などについて    |                       |

## P34- 2 | 移動と交通について

- |             |                 |
|-------------|-----------------|
| 1 おーバス・路線バス | 2 高齢者社会と公共交通の整備 |
|-------------|-----------------|

## P34- 3 | 生活環境や福祉などについて

- |                     |                |
|---------------------|----------------|
| 1 教育、子育て世代・若い世代について | 2 高齢化社会について    |
| 3 地域コミュニティ、共生社会について | 4 安全・安心な環境について |

## P37- 4 | 以上に分類されないご意見など

## 5 | これからのまちづくり、未来ビジョンへの総合的なご意見

## 中地区 「田園環境都市 おやま」のまちづくりに向けたアンケート

中地区にお住まいの皆様

小山市では、自然環境が豊かな田園地帯と、J R小山駅周辺などの都市部とが、より良い関係性を結びながら調和がとれた姿を「田園環境都市おやま」と呼び、将来の世代に負担を残さない持続的なまちづくりに取り組もうとしています。

この度、「田園環境都市おやま」がどうあるべきか、市民の皆様とともに考えるため、アンケートを実施することになりました。

つきましては、ご多忙中恐れ入りますが、以下をご覧くださいアンケートのご協力をお願いいたします。アンケート結果は、集計・考察を行い、令和6年8月末から9月初旬には、中地区の皆様へ報告会を開催したいと考えておりますのでご承知おきください。

なお、アンケートの回答は、目的以外に使用しないほか、公開する報告書等においても回答者個人の特定を招くような引用はいたしません。

ご不明な点がございましたら、担当課（田園環境都市推進課）までご連絡ください。

◎ アンケート提出方法：お手数をおかけしますが、よろしくお願ひします。

1 各世帯の皆様は—アンケートが入っていた長3サイズの封筒に入れ封をして

【6月20日（木）】までに各自治会の班長にお渡しください。

2 班長の皆様は—班内で集まったアンケート入りの封筒を

【6月24日（月）】までに各自治会長にお渡しください。

3 自治会長の皆様は 【6月28日（金）】までに公民館へお持ちください。

◎ 2人目以降からの回答について

各世帯におきまして、紙のアンケートにご回答された方以外にもご協力いただける方は、右のフォームよりスマートフォンやパソコンからもご回答いただけます。

※アンケートの内容は、紙のアンケートと同一です。

※入力締め切りは【令和6年7月15日（月）】です。

※この回答フォームでは、メールアドレスなど個人情報の収集は行っておりませんので安心してご回答ください。



◎ アンケート実施：有限責任事業組合 風景社

◎ お問い合わせ先：小山市田園環境都市推進課（電話：0285-22-9379）

【1】 以下について教えてください。

選択肢があるものは、当てはまるものを選んで、番号に○（マル）をつけてください。

01 | 性別 [ ]

02 | 年齢 [ ①20代以下 ②30代 ③40代 ④50代 ⑤60代 ⑥70代以上 ]

03 | 同居の世帯人数 [ ①ご本人1人 ②2人 ③3人 ④4人以上 ]

04 | 職業 [ ①会社員 ②公務員 ③団体職員 ④自営業 ⑤農業（専業） ⑥農業（兼業）  
⑦パート/アルバイト ⑧学生 ⑨無職（退職者や主婦・主夫の方などを含む）  
⑩その他（ ） ]

\*農家（兼業）の方は複数回答可です。農業以外の仕事もお選び下さい。

05 | お住まいの大字

[ ①南小林 ②上泉 ③下泉 ④井岡 ⑤小袋  
⑥下河原田 ⑦生駒 ⑧大川島 ⑨下初田 ]

06 | 地域活動の経験があるものを選んで、番号に○（マル）をつけてください。

\*複数選択も可です。

[ ①自治会役員 ②消防団 ③氏子/檀家の組織 ④PTA ⑤育成会・子ども会 ⑥任意団体  
⑦その他（ ） ]

07 | 中地区との関わりについて当てはまるものを選んで、番号に○（マル）をつけてください。

選択肢

- ①中地区で生まれて、一度も地区外で住むことなく、今に至る。
- ②中地区で生まれて、進学のために数年間、地区外へ出て、卒業後に中地区に戻った。
- ③中地区で生まれて、就職のために地区外へ出て中地区に戻った。
- ④中地区で生まれて、進学のために地区外へ出て地区外で就職し、のちに中地区に戻った。
- ⑤小山市の他の地区で生まれ育ち、中地区に移り住んだ。
- ⑥栃木県内の他の市町で生まれ育ち、中地区に移り住んだ。
- ⑦栃木県外で生まれ育ち、中地区に移り住んだ。

②～⑦を選んだ方は、戻った理由や移り住んだ理由を差し支えない範囲で教えてください。

[ ]

【2】 あなたご自身の日々の暮らしの生活圏について教えてください。

選択肢

- |            |                       |
|------------|-----------------------|
| ①中地区       | ⑪中地区・生井地区             |
| ②小山地区（駅西）  | ⑫宇都宮市                 |
| ③小山地区（駅東）  | ⑬栃木市                  |
| ④間々田地区     | ⑭野木町                  |
| ⑤桑地区       | ⑮栃木県内の他の市町（栃木市・野木町以外） |
| ⑥絹地区       | ⑯茨城県                  |
| ⑦大谷北部・中部地区 | ⑰東京都                  |
| ⑧大谷南部地区    | ⑱埼玉県                  |
| ⑨穂積地区      | ⑲群馬県・千葉県              |
| ⑩豊田地区      | ⑳その他                  |

- (1) 仕事や学校へ通っている地域を、上の選択肢から選んで〔回答欄〕に番号を記入してください。複数ある場合は、メインの地域1つのみ、お答えください。

|    |  |
|----|--|
| 回答 |  |
|----|--|

- (2) 日常的な買い物や用事で、よく出かける地域を、上の選択肢から選んで〔回答欄〕に番号をご記入ください。複数ある場合は、メインの地域1つのみ、お答えください。

|    |  |
|----|--|
| 回答 |  |
|----|--|

- (3) 休みの日に「特別な買い物」「会食」「イベント」などでよく出かける地域の上位2つを、上の選択肢から選んで番号を〔回答欄〕に記入してください。

|    |  |  |
|----|--|--|
| 回答 |  |  |
|----|--|--|

⑮栃木県内の他の市町、⑳その他を選んだ方は市町村を教えてください（                      ）

- (4) 休みの日に「自然の中でリフレッシュ」したり「アウトドアスポーツ」を楽しんだりするためによく出かける地域の上位2つを、上の選択肢から選んで番号を〔回答欄〕に記入してください。

|    |  |  |
|----|--|--|
| 回答 |  |  |
|----|--|--|

⑮栃木県内の他の市町、⑳その他を選んだ方は市町村を教えてください（                      ）

【3】中地区の地域資源についての認知度や関心度についてお尋ねします。  
下記のそれぞれについて当てはまる番号を選んで [回答欄] にご記入ください

(1) 中地区の歴史や、歴史的な寺社について

A：中地区のなりたちの歴史や、近隣に残る史跡や神社・寺の歴史、由緒、祭り  
などを知っていますか？

- ①良く知っている ②まあまあ知っている ③あまり知らない ④全く知らない

B：中地区のこのような歴史や、文化財、祭り、伝統芸能に関心がありますか？

- ①とても関心がある ②まあまあ関心がある ③あまり関心がない ④全く関心がない

|      |  |      |  |
|------|--|------|--|
| A 回答 |  | B 回答 |  |
|------|--|------|--|

(2) 中地区に残る自然環境について

A：中地区にある公園、街路樹、平地林などについて

- ①良く知っている ②まあまあ知っている ③あまり知らない ④全く知らない

B：中地区に残る自然環境に関心がありますか？

- ①とても関心がある ②まあまあ関心がある ③あまり関心がない ④全く関心がない

|      |  |      |  |
|------|--|------|--|
| A 回答 |  | B 回答 |  |
|------|--|------|--|

(3) 中地区で行われている農業について

A：どのような地域で、どのような農業が行われているかについて

- ①良く知っている ②まあまあ知っている ③あまり知らない ④全く知らない

B：地区内で行われている農業に関心がありますか？

- ①とても関心がある ②まあまあ関心がある ③あまり関心がない ④全く関心がない

|      |  |      |  |
|------|--|------|--|
| A 回答 |  | B 回答 |  |
|------|--|------|--|

【4】あなたが「無くしたい」「解消したい」「解決したい」と考える、中地区の困りごとは、どんなことでしょうか？ 選択肢の中から3つ選んで番号を「回答欄」にご記入ください。  
選んだ項目について、特に理由やご意見がありましたら「コメント」にご記入ください。

選択肢

- |                    |                               |
|--------------------|-------------------------------|
| ①地域活動の担い手・後継者不足    | ⑫子どもが外遊びできる場所の減少              |
| ②農業の担い手・後継者不足      | ⑬選択肢が少ない働く場所                  |
| ③祭りや伝統芸能の担い手・後継者不足 | ⑭買い物の不便さ                      |
| ④地域の集まりや寄合い        | ⑮医療機関の不足                      |
| ⑤昔からの風習            | ⑯交通渋滞                         |
| ⑥地域でのコミュニケーション不足   | ⑰道路(幅の狭さ・繋がり具合の悪さ・陥没等)        |
| ⑦騒音などの住環境への影響      | ⑱公共交通の不便さ(バスの状況やJR駅までのアクセスなど) |
| ⑧空き家・空き地の増加        | ⑲台風や大雨による被害(道路の冠水など)          |
| ⑨治安の悪化             | ⑳路上や公園などのゴミやゴミ出しのマナー          |
| ⑩人口減少              | ㉑その他( )                       |
| ⑪選択肢が少ない教育環境       |                               |

|    |  |  |  |
|----|--|--|--|
| 回答 |  |  |  |
|----|--|--|--|

|      |
|------|
| コメント |
|------|

【5】あなたが「大切に守っていききたい」と考える、中地区の「小さな自慢」はどんなことでしょうか？ 選択肢の中から3つ選んで番号を「回答欄」にご記入ください。  
選んだ項目について、特に理由やご意見がありましたら「コメント」にご記入ください。

選択肢

- |                        |                        |
|------------------------|------------------------|
| ①地域に残る歴史ある史跡、神社やお寺     | ⑧買い物の利便性               |
| ②各地域に残る祭りや風習、伝統芸能      | ⑨街路樹や公園、平地林などまちなかに残る自然 |
| ③各地域に残る歴史ある建物や古木       | ⑩まちなみや景観               |
| ④消防団や自治会活動等、地域の助け合いの活動 | ⑪地域の農業                 |
| ⑤公民館で行われる祭りやイベント       | ⑫地域の商業                 |
| ⑥趣味やスポーツの地域のサークル活動     | ⑬地域の工業                 |
| ⑦交通の利便性                | ⑭その他( )                |

|    |  |  |  |
|----|--|--|--|
| 回答 |  |  |  |
|----|--|--|--|

|      |
|------|
| コメント |
|------|

【6】あなたご自身の日頃の暮らしの中での考えを教えてください。

(1) 日頃の暮らしの中で「充足感を感じる」のは、どんな時ですか？

選択肢の中から当てはまるものを3つ選んで番号を[回答欄]にご記入ください。

選択肢

- ①仕事に打ち込んでいる時
- ②勉強や教養などに身を入れている時
- ③趣味やスポーツに熱中している時
- ④ゆったりと休養している時
- ⑤家族だんらの時
- ⑥友人や知人と会合、雑談している時
- ⑦社会奉仕や社会活動をしている時
- ⑧その他 ( )

|    |  |  |  |
|----|--|--|--|
| 回答 |  |  |  |
|----|--|--|--|

(2) あなたにとって「豊かさを感じる幸福な暮らし」は、どのようなことでしょうか？ 豊かさや幸福の実現に「最も大切だと思うもの」を3つ選んで番号を[回答欄]にご記入ください。

選択肢

- ①家電や車など物質的に満ち足りた環境で暮らせること
- ②モノはあまり所有せずに、できるだけシンプルに身軽に暮らせること
- ③好きなことができるだけのお金や資産のゆとりがあること
- ④好きなことをする時間のゆとりがあること
- ⑤情報や商品が手に入りやすく文化芸術に触れる機会が多い都会で暮らせること
- ⑥自然に恵まれた環境の中で、またはその近くで暮らせること
- ⑦家庭菜園や花づくりなど、土に触れる時間があること
- ⑧地域の伝統や文化を絶やさず継承し、次の世代に引き渡す活動ができること
- ⑨日本各地、世界各国の農産物や商品が手に入る環境で暮らすこと
- ⑩住んでいる地域でつくられている農産物や商品が手に入る環境で暮らすこと
- ⑪社会的な地位を築き、名が知れた存在になること
- ⑫困っている人の役に立てる活動や、地域、社会の役に立てること
- ⑬心も体も健康でいられること
- ⑭家族や親戚、友人や地域の人たちと助け合って生活すること
- ⑮老後、災害、犯罪や戦争などの心配がなく、安心して安全に暮らせること
- ⑯その他 ( )

|    |  |  |  |
|----|--|--|--|
| 回答 |  |  |  |
|----|--|--|--|



【7】最後に、小山市のこれからのまちづくりについて、お考えやご意見をお聞かせください。

- (1) 20年後、30年後の望ましい小山市の都市環境のあり方について、ご意見をお尋ねします。  
A から G それぞれについて、選択肢の中からお考えに合うものを選び、番号を [回答欄]  
にご記入ください。また、そう考える理由や、実現のためのご意見などありましたら、  
(2) の自由記述欄にお書きください。

選択肢 ①そう望む ②どちらかといえば望む  
③どちらかといえば望まない ④望まない ⑤わからない

- (A) 商業・工業が発展し、工業団地も増え経済的な成長や活力が重んじられている小山市  
(B) 地域の農業が大切にされ、地産地消が進み、市域内の食料自給率が上がっている小山市  
(C) 環境保全型の農業によって自然環境も良好に保たれ、コウノトリも増えている小山市  
(D) 空き地や平地林などに新しい宅地開発が進み、定住する若い世代や移住者が増える小山市  
(E) 空き家の改修や利活用が進み、あるものを大切にした住宅整備やまちづくりが進む小山市  
(F) 公共交通機関の整備や、徒歩や自転車で安全・快適に移動できるまちづくりが進む小山市  
(G) 車社会に対応して、駐車場やバイパスの整備など、車での移動が快適になる小山市

|    |   |   |   |   |   |   |   |
|----|---|---|---|---|---|---|---|
| 回答 | A | B | C | D | E | F | G |
|----|---|---|---|---|---|---|---|

- (2) 最後に、お考えやご提案を自由にお書きください。

\*例えば、上記の A から G であげた例以外に、20年後、30年後の望ましい小山市の都市環境のあり方として、お考えがありましたら教えてください。

\*また、小山駅周辺の都市環境を持つエリアも、それを取り込む田園環境が広がるエリアも、バランスと調和がとれ、より良い関係を作りながら持続可能なまちづくりを進めていくために、小山市が大切にしていけるべきこと、具体的なお提案など、自由にお書きください。

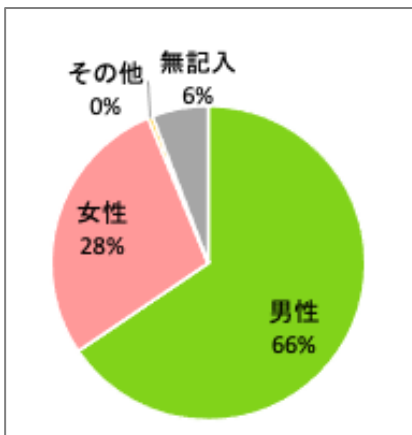
ご回答、ありがとうございました。

# 集計結果

## 1. 回答者の基本情報

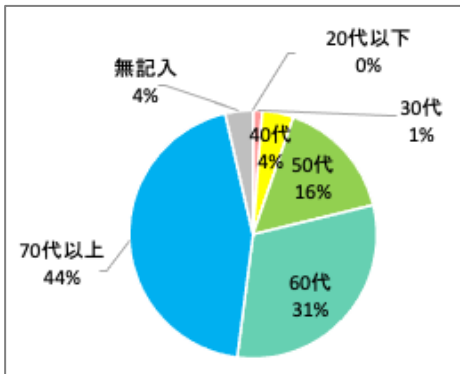
【1】以下について教えてください。

### 01 | 性別



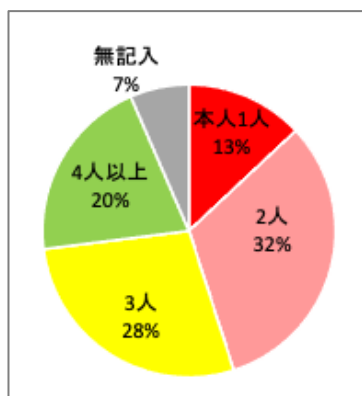
|    |     |     |      |
|----|-----|-----|------|
| 性別 | 男性  | 66% | 272名 |
|    | 女性  | 28% | 117名 |
|    | その他 |     | 2名   |
|    | 無記入 |     | 24名  |
|    | 無効  |     | 0名   |

### 02 | 年齢



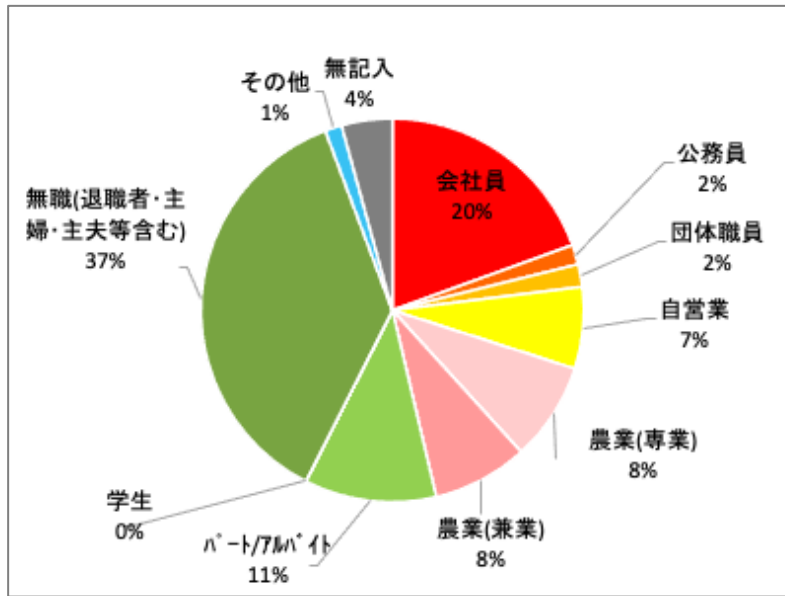
|    |       |     |      |
|----|-------|-----|------|
| 年齢 | 20代以下 | 0%  | 0名   |
|    | 30代   | 1%  | 5名   |
|    | 40代   | 4%  | 17名  |
|    | 50代   | 16% | 66名  |
|    | 60代   | 31% | 128名 |
|    | 70代以上 | 44% | 184名 |
|    | 無記入   |     | 15名  |
|    | 無効    |     | 0名   |

### 03 | 世帯の人数



|     |      |     |      |
|-----|------|-----|------|
| 世帯数 | 本人1人 | 13% | 54名  |
|     | 2人   | 32% | 133名 |
|     | 3人   | 28% | 116名 |
|     | 4人以上 | 20% | 85名  |
|     | 無記入  |     | 27名  |
|     | 無効   |     | 0名   |

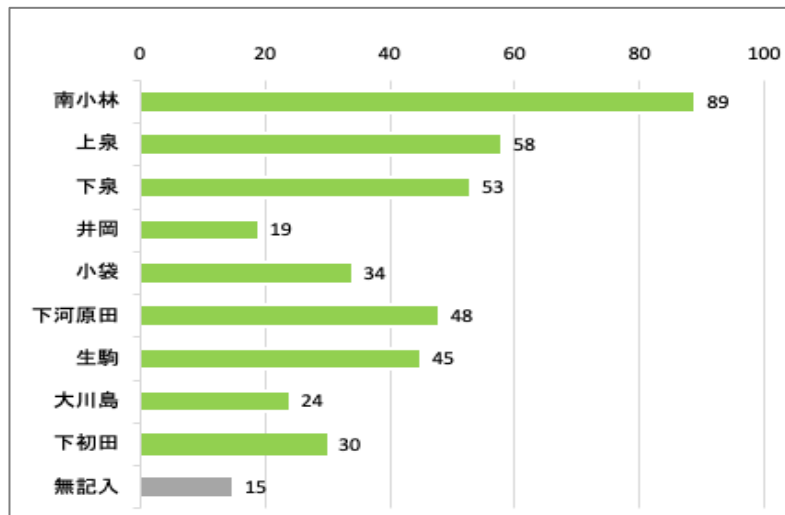
04 | 職 業 \*兼業農家は複数回答



04 職業

|           |     |      |
|-----------|-----|------|
| 会社員       | 20% | 82名  |
| 公務員       | 2%  | 7名   |
| 団体職員      | 2%  | 8名   |
| 自営業       | 7%  | 29名  |
| 農業(専)     | 8%  | 35名  |
| 農業(兼)     | 8%  | 34名  |
| パート/アルバイト | 11% | 47名  |
| 学生        | 0%  | 0名   |
| 無職        | 37% | 155名 |

05 | お住まいの大字



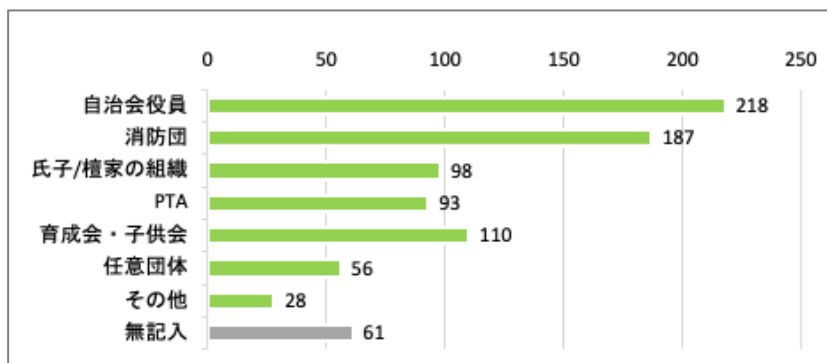
|     |     |
|-----|-----|
| その他 | 6名  |
| 無記入 | 18名 |
| 無効  | 7名  |

06 地域活動・その他の回答

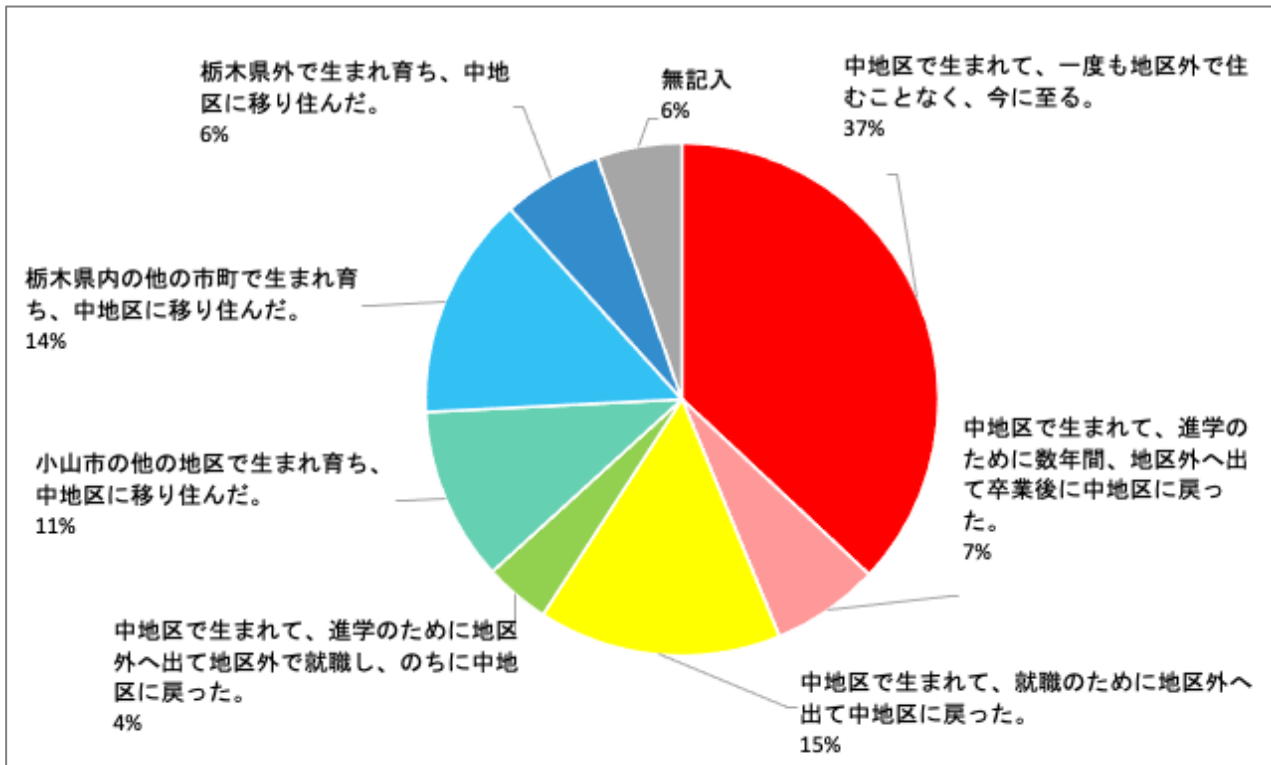
原文ママ

◎民生委員・児童委員 ◎老人クラブ役員 ◎土地改良区役員 ◎社総代 ◎まちづくり推進協議会 ◎商工会副会長 ◎農協理事 ◎女性ドライバー ◎社会福祉協議会 ◎安全パトロール ◎学童野球役員 ◎中央公民館主催の行事 ◎芝桜草取り担当 ◎神社年番 ◎協議会委員 ◎神社総代 ◎明選 ◎営農組合相談員 ◎交通安全協会女子部

06 | 地域活動の経験 \*複数選択可



07 | 中地区との関わり



無記入 22 名、無効 4 名

中地区で生まれて、一度も地区外で住むことなく、今に至る。 152 名 (37%)

中地区で生まれて、就職のために地区外へ出て、戻った。 63 名 (15%)

中地区  
生まれ  
63%

中地区で生まれて、進学で地区外へ。のちに戻った。 28 名 (7%)

中地区で生まれて、進学、就職で地区外へ。のちに戻った。 17 名 (4%)

小山市の他の地区で生まれ育ち、中地区に移り住んだ。 45 名 (11%)

中地区外の  
県内から移住 25%

栃木県内の他の市町で生まれ育ち、中地区に移り住んだ。 58 名 (14%)

栃木県外で生まれ育ち、中地区に移り住んだ。 26 名 (6%)

県外から移住 6%

中地区に移り住んだ/戻った方の理由(コメント回答 148 : 結婚や実家など複合的的回答もあり①から③の合計は 148 を超える)

①実家との関係 : 66 件~親の介護、長男なので、親の敷地に家を建てて、親の要請で・・・など。

②結婚を機に : 62 件~結婚した夫の家族と同居、結婚相手の地元だから・・・など

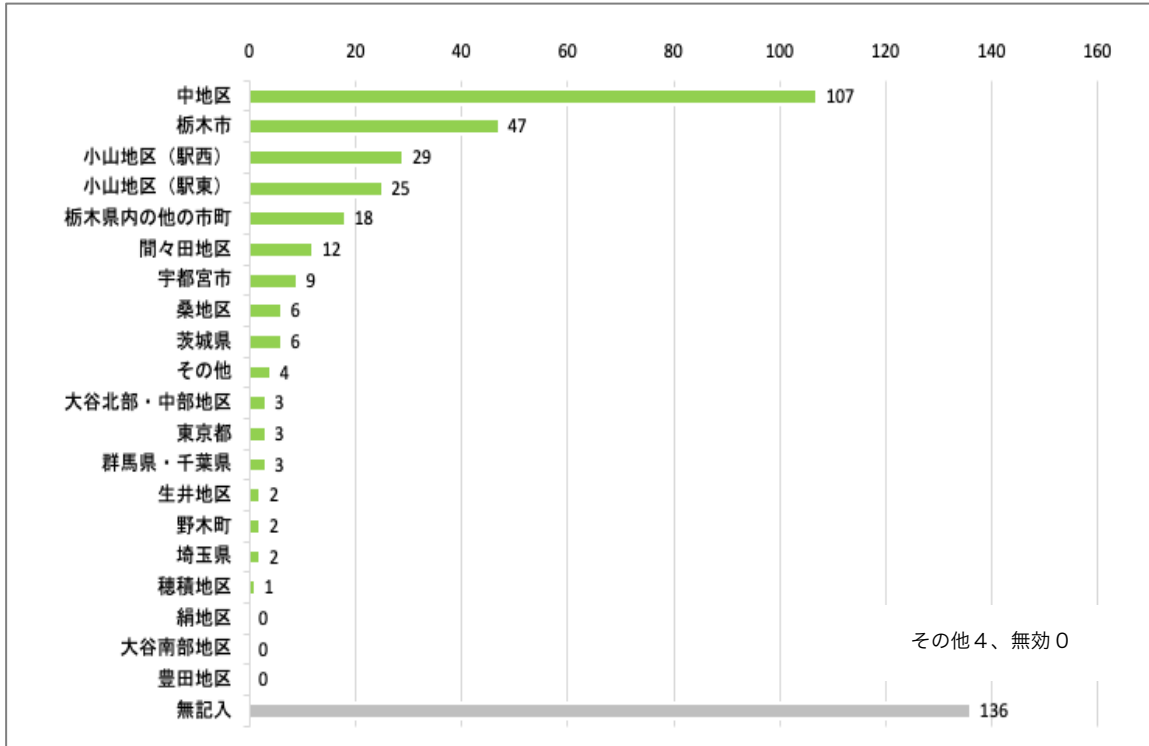
③仕事の都合で : 21 件~転職、長期派遣や転勤から地元に戻った・・・など

他~◎自然環境が良く交通も便利で住むのに良いと思った◎土地が安いので◎子育てで移住。妻の親の土地を譲り受けた◎子どもを母校に通わせたくて ◎地元が好き ◎農作業もできるいい物件に出会えた

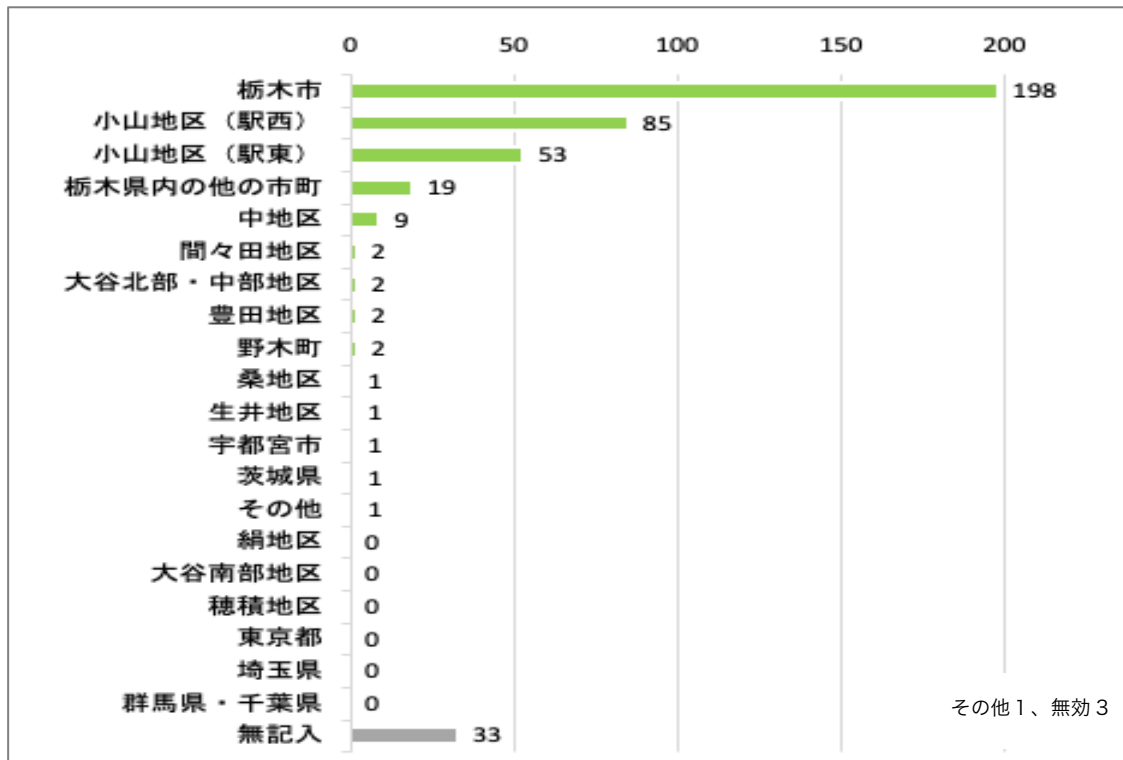
## 2. 現在の生活圏

【2】あなたご自身の日々の暮らしの生活圏について教えてください。

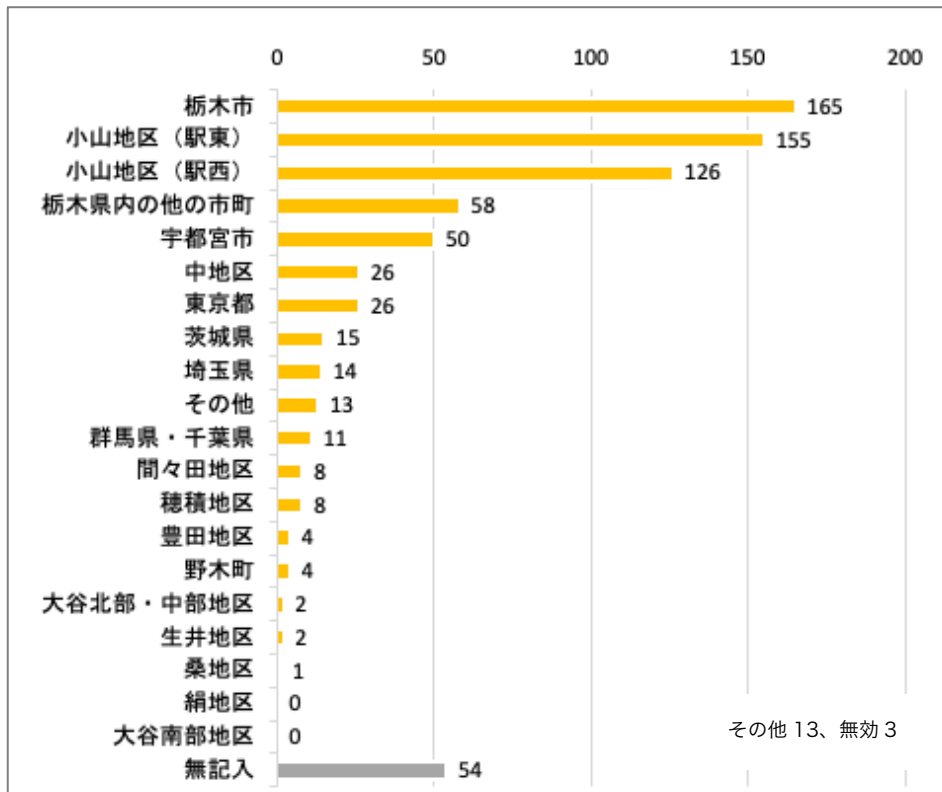
(1) 仕事や学校へ通っている地域 \*複数ある場合は、メインの地域1つのみ。(無記入47)



(2) 日常的な買い物や用事で、よく出かける地域。\*複数ある場合は、メインの地域1つのみ。



(3) 休みの日に「特別な買い物」「会食」「イベント」等によく出かける地域  
\*上位2つを選択



(3) その他コメントより

【栃木県内の市町村】

- 1位：佐野市（26名）
- 2位：栃木市（5名）  
（3名が大平町と回答）
- 3位：足利市（4名）
- 3位：宇都宮市（4名）
- 5位：下野市（3名）
- 6位：壬生町（2名）
- 7位：那須塩原市（1名）
- 7位：那須烏山市（1名）

【栃木県外の市町村】

- 1位：神奈川県 横浜市（2名）
- 2位：長野県東信地方（1名）
- 2位：神奈川県（1名）

(4) その他コメントより

【栃木県内の市町村】

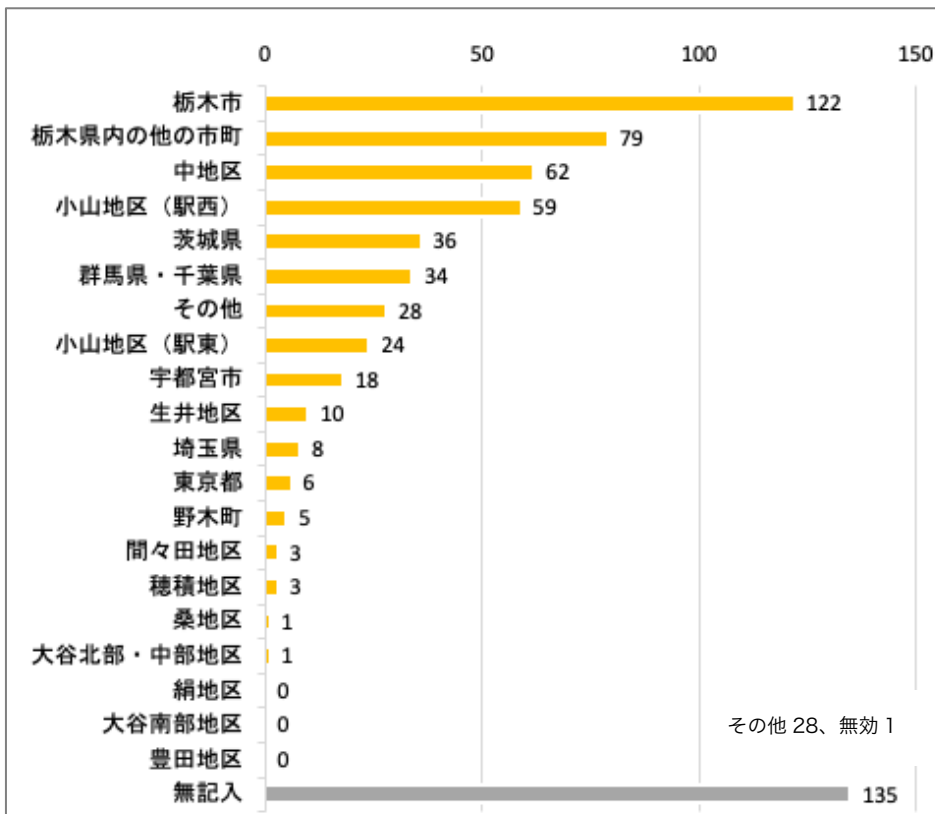
- 1位：那須町（13名）
- 2位：佐野市（12名）
- 3位：日光市（11名）
- 4位：鹿沼市（8名）
- 5位：那須町（4名）
- 6位：那須烏山市（2名）
- 6位：足利市（2名）
- 6位：益子町（2名）
- 6位：栃木市（2名）  
（大平町、岩舟町）
- 6位：下野市（2名）
- 6位：県北（2名）

以下1名：佐野市・大田原市・茂木町・真岡市・さくら市・渡瀬遊水地

【栃木県外の市町村】

- 1位：長野県（3名）
- 以下1名：神奈川県横浜市・福島県・山形県・長野県白馬村・茨城県古河市・東北・全国

(4) 休みの日に「自然の中でリフレッシュ」「アウトドアスポーツ」等によく出かける地域 \*上位2つを選択



### 3. 地域資源への認知度・関心度 [単純集計]

ここでは各質問と選択肢の下段に集計結果（人数・％）を記載し、グラフを次ページに記載する。

#### 【3】中地区の歴史や地域資源についての認知度や関心度について。

##### (1) 中地区の歴史や、歴史的な寺社、祭りなどについて

A：中地区のなりたちの歴史や、近隣に残る史跡や神社や寺の歴史、由緒、祭りなどを知っていますか？

B：中地区のこのような歴史や、祭り、伝統芸能に関心がありますか？

|          |          |           |          |         |        |
|----------|----------|-----------|----------|---------|--------|
| A<br>認知度 | 良く知っている  | まあまあ知っている | あまり知らない  | 全く知らない  | 無記入    |
|          | 17名：4%   | 159名：38%  | 191名：46% | 32名：8%  | 16名：4% |
|          | 42%      |           | 54%      |         |        |
| B<br>関心度 | とても関心がある | まあまあ関心がある | あまり関心がない | 全く関心がない | 無記入    |
|          | 17名：4%   | 176名：42%  | 174名：42% | 28名：7%  | 20名：5% |
|          | 46%      |           | 49%      |         |        |

無効0名

##### (2) 中地区に残る自然環境について

A：中地区にある公園、街路樹、平地林などについて知っていますか？

B：中地区に残る自然環境に関心がありますか？

|          |          |           |          |         |        |
|----------|----------|-----------|----------|---------|--------|
| A<br>認知度 | 良く知っている  | まあまあ知っている | あまり知らない  | 全く知らない  | 無記入    |
|          | 19名：11%  | 139名：39%  | 210名：41% | 33名：8%  | 14名：1% |
|          | 50%      |           | 49%      |         |        |
| B<br>関心度 | とても関心がある | まあまあ関心がある | あまり関心がない | 全く関心がない | 無記入    |
|          | 26名：6%   | 200名：48%  | 155名：37% | 18名：4%  | 16名：4% |
|          | 54%      |           | 41%      |         |        |

無効0名

##### (3) 中地区で行われている農業について

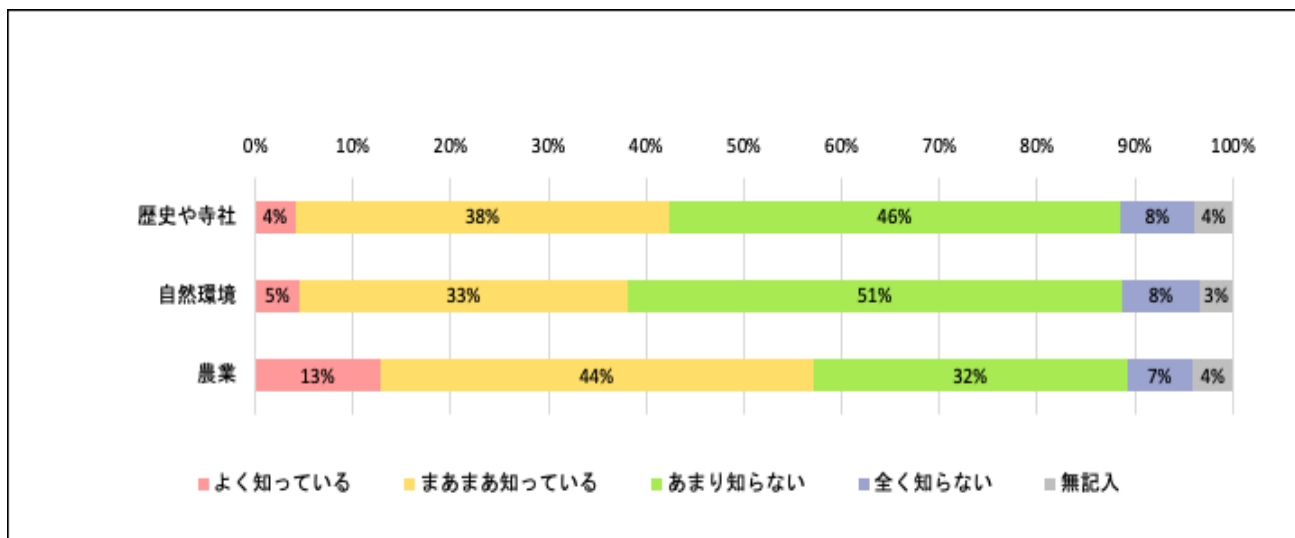
A：どのような地域で、どのような農業が行われているかについて知っていますか？

B：地区内で行われている農業に関心がありますか？

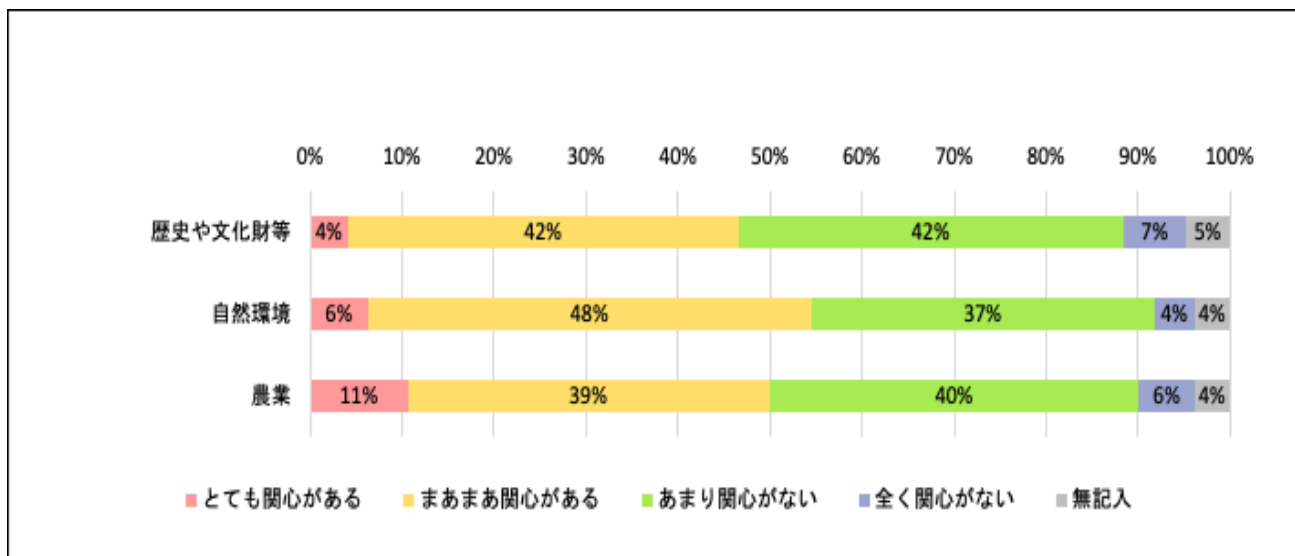
|          |          |           |          |         |        |
|----------|----------|-----------|----------|---------|--------|
| A<br>認知度 | 良く知っている  | まあまあ知っている | あまり知らない  | 全く知らない  | 無記入    |
|          | 53名：13%  | 184名：44%  | 133名：32% | 28名：7%  | 17名：4% |
|          | 57%      |           | 39%      |         |        |
| B<br>関心度 | とても関心がある | まあまあ関心がある | あまり関心がない | 全く関心がない | 無記入    |
|          | 44名：11%  | 163名：39%  | 167名：40% | 25名：6%  | 16名：4% |
|          | 50%      |           | 46%      |         |        |

無効0名

【3】 A：認知度



【3】 B：関心度





### 3. 地域資源への認知度・関心度 [年代別集計]

年齢について無記入無効の方を除き集計

(1) 中地区の歴史や、歴史的な寺社、祭りなどについて \*年齢別回答人口が少ない層は％は記載しない

|             |          |          |           |          |         |     |
|-------------|----------|----------|-----------|----------|---------|-----|
| 30代<br>5名   | A<br>認知度 | 良く知っている  | まあまあ知っている | あまり知らない  | 全く知らない  | 無記入 |
|             |          | 2名       | 1名        | 1名       | 1名      | 0名  |
|             |          | 3名       |           | 2名       |         |     |
|             | B<br>関心度 | とても関心がある | まあまあ関心がある | あまり関心がない | 全く関心がない | 無記入 |
|             |          | 1名       | 1名        | 2名       | 1名      | 0名  |
|             |          | 2名       |           | 3名       |         |     |
| 40代<br>17名  | A<br>認知度 | 良く知っている  | まあまあ知っている | あまり知らない  | 全く知らない  | 無記入 |
|             |          | 0名       | 4名        | 12名      | 1名      | 0名  |
|             |          | 4名       |           | 13名      |         |     |
|             | B<br>関心度 | とても関心がある | まあまあ関心がある | あまり関心がない | 全く関心がない | 無記入 |
|             |          | 0名       | 11名       | 6名       | 0名      | 0名  |
|             |          | 11名      |           | 6名       |         |     |
| 50代<br>66名  | A<br>認知度 | 良く知っている  | まあまあ知っている | あまり知らない  | 全く知らない  | 無記入 |
|             |          | 1名・2%    | 20名・30%   | 39名・59%  | 5名・8%   | 1名  |
|             |          | 21名・32%  |           | 44名・67%  |         |     |
|             | B<br>関心度 | とても関心がある | まあまあ関心がある | あまり関心がない | 全く関心がない | 無記入 |
|             |          | 2名・3%    | 25名・38%   | 32名・49%  | 6名・9%   | 1名  |
|             |          | 27名・41%  |           | 38名・58%  |         |     |
| 60代<br>128名 | A<br>認知度 | 良く知っている  | まあまあ知っている | あまり知らない  | 全く知らない  | 無記入 |
|             |          | 2名・2%    | 49名・42%   | 63名・49%  | 13名・10% | 1名  |
|             |          | 51名・45%  |           | 76名・59%  |         |     |
|             | B<br>関心度 | とても関心がある | まあまあ関心がある | あまり関心がない | 全く関心がない | 無記入 |
|             |          | 4名・3%    | 53名・42%   | 58名・45%  | 11名・9%  | 2名  |
|             |          | 57名・45%  |           | 69名・54%  |         |     |
| 70代<br>184名 | A<br>認知度 | 良く知っている  | まあまあ知っている | あまり知らない  | 全く知らない  | 無記入 |
|             |          | 11名・6%   | 85名・46%   | 74名・40%  | 12名・7%  | 2名  |
|             |          | 96名・52%  |           | 86名・47%  |         |     |
|             | B<br>関心度 | とても関心がある | まあまあ関心がある | あまり関心がない | 全く関心がない | 無記入 |
|             |          | 10名・5%   | 84名・46%   | 76名・41%  | 10名・5%  | 4名  |
|             |          | 94名・51%  |           | 86名・46%  |         |     |

## (2) 中地区に残る自然環境（平地林・街路樹・公園など）について

\* 年齢別回答人口が少ない層は%は記載しない

|                |          |          |           |          |         |     |
|----------------|----------|----------|-----------|----------|---------|-----|
| 1<br>30代<br>5名 | A<br>認知度 | 良く知っている  | あまあ知っている  | あまり知らない  | 全く知らない  | 無記入 |
|                |          | 2名       | 0名        | 1名       | 2名      | 0名  |
|                |          | 2名       |           | 3名       |         |     |
|                | B<br>関心度 | とても関心がある | まあまあ関心がある | あまり関心がない | 全く関心がない | 無記入 |
|                |          | 1名       | 1名        | 2名       | 1名      | 1名  |
|                |          | 2名       |           | 3名       |         |     |
| 40代<br>17名     | A<br>認知度 | 良く知っている  | あまあ知っている  | あまり知らない  | 全く知らない  | 無記入 |
|                |          | 0名       | 6名        | 9名       | 2名      | 0名  |
|                |          | 6名       |           | 11名      |         |     |
|                | B<br>関心度 | とても関心がある | まあまあ関心がある | あまり関心がない | 全く関心がない | 無記入 |
|                |          | 0名       | 12名       | 5名       | 0名      | 0名  |
|                |          | 12名      |           | 5名       |         |     |
| 50代<br>66名     | A<br>認知度 | 良く知っている  | あまあ知っている  | あまり知らない  | 全く知らない  | 無記入 |
|                |          | 1名・2%    | 17名・26%   | 41名・62%  | 6名・9%   | 1名  |
|                |          | 18名・28%  |           | 47名・71%  |         |     |
|                | B<br>関心度 | とても関心がある | まあまあ関心がある | あまり関心がない | 全く関心がない | 無記入 |
|                |          | 3名・5%    | 28名・42%   | 27名・41%  | 6名・9%   | 2名  |
|                |          | 31名・47%  |           | 33名・50%  |         |     |
| 60代<br>128名    | A<br>認知度 | 良く知っている  | あまあ知っている  | あまり知らない  | 全く知らない  | 無記入 |
|                |          | 2名・2%    | 45名・35%   | 69名・54%  | 11名・8%  | 1名  |
|                |          | 47名・37%  |           | 80名・62%  |         |     |
|                | B<br>関心度 | とても関心がある | まあまあ関心がある | あまり関心がない | 全く関心がない | 無記入 |
|                |          | 4名・3%    | 65名・51%   | 52名・41%  | 6名・9%   | 1名  |
|                |          | 69名・54%  |           | 58名・50%  |         |     |
| 70代<br>184名    | A<br>認知度 | 良く知っている  | あまあ知っている  | あまり知らない  | 全く知らない  | 無記入 |
|                |          | 13名・7%   | 69名・37%   | 90名・49%  | 12名・7%  | 0名  |
|                |          | 82名・44%  |           | 102名・56% |         |     |
|                | B<br>関心度 | とても関心がある | まあまあ関心がある | あまり関心がない | 全く関心がない | 無記入 |
|                |          | 17名・9%   | 94名・51%   | 68名・37%  | 5名・3%   | 0名  |
|                |          | 111名・60% |           | 73名・40%  |         |     |

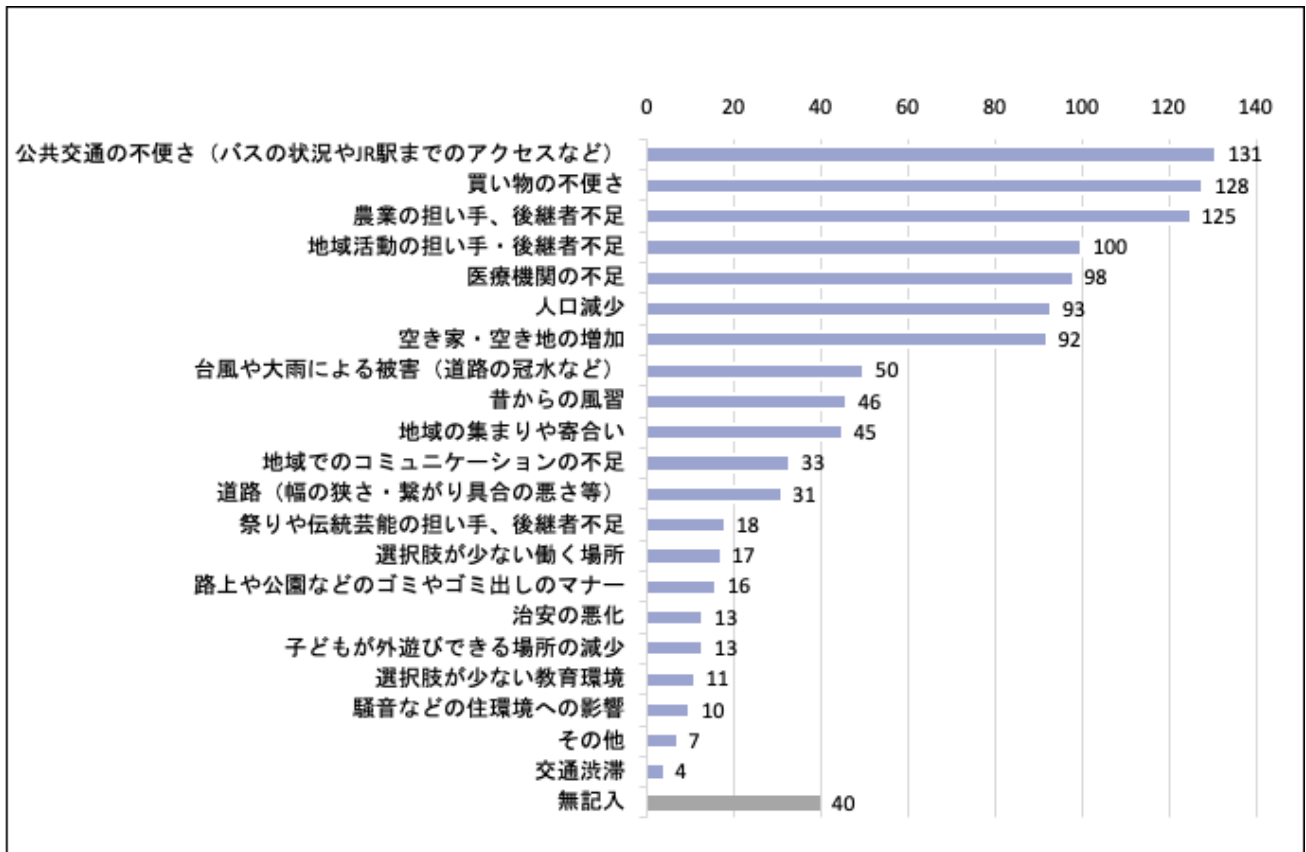
## (3) 中地区で行われている農業について

\* 年齢別回答人口が少ない層は%は記載しない

|             |          |          |           |          |         |     |
|-------------|----------|----------|-----------|----------|---------|-----|
| 30代<br>5名   | A<br>認知度 | 良く知っている  | まあまあ知っている | あまり知らない  | 全く知らない  | 無記入 |
|             |          | 2名       | 0名        | 2名       | 1名      | 0名  |
|             |          | 2名       |           | 3名       |         |     |
|             | B<br>関心度 | とても関心がある | まあまあ関心がある | あまり関心がない | 全く関心がない | 無記入 |
|             |          | 1名       | 0名        | 2名       | 2名      | 0名  |
| 1名          |          | 4名       |           |          |         |     |
| 40代<br>17名  | A<br>認知度 | 良く知っている  | まあまあ知っている | あまり知らない  | 全く知らない  | 無記入 |
|             |          | 2名       | 6名        | 6名       | 3名      | 0名  |
|             |          | 8名       |           | 9名       |         |     |
|             | B<br>関心度 | とても関心がある | まあまあ関心がある | あまり関心がない | 全く関心がない | 無記入 |
|             |          | 2名       | 7名        | 8名       | 0名      | 0名  |
| 9名          |          | 8名       |           |          |         |     |
| 50代<br>66名  | A<br>認知度 | 良く知っている  | まあまあ知っている | あまり知らない  | 全く知らない  | 無記入 |
|             |          | 1名・2%    | 35名・53%   | 22名・33%  | 6名・9%   | 2名  |
|             |          | 36名・55%  |           | 28名・42%  |         |     |
|             | B<br>関心度 | とても関心がある | まあまあ関心がある | あまり関心がない | 全く関心がない | 無記入 |
|             |          | 6名・9%    | 22名・33%   | 30名・45%  | 7名・11%  | 1名  |
| 28名・42%     |          | 37名・56%  |           |          |         |     |
| 60代<br>128名 | A<br>認知度 | 良く知っている  | まあまあ知っている | あまり知らない  | 全く知らない  | 無記入 |
|             |          | 12名・9%   | 62名・48%   | 43名・34%  | 10名・8%  | 1名  |
|             |          | 74名・57%  |           | 53名・42%  |         |     |
|             | B<br>関心度 | とても関心がある | まあまあ関心がある | あまり関心がない | 全く関心がない | 無記入 |
|             |          | 9名・7%    | 58名・45%   | 49名・38%  | 11名・9%  | 1名  |
| 67名・52%     |          | 60名・47%  |           |          |         |     |
| 70代<br>184名 | A<br>認知度 | 良く知っている  | まあまあ知っている | あまり知らない  | 全く知らない  | 無記入 |
|             |          | 36名・20%  | 79名・43%   | 60名・33%  | 8名・4%   | 1名  |
|             |          | 115名・63% |           | 68名・37%  |         |     |
|             | B<br>関心度 | とても関心がある | まあまあ関心がある | あまり関心がない | 全く関心がない | 無記入 |
|             |          | 26名・14%  | 75名・41%   | 77名・42%  | 5名・3%   | 1名  |
| 101名・55%    |          | 82名・45%  |           |          |         |     |

## 4. 地区の困りごと [単純集計]

【4】あなたが「無くしたい」「解消したい」「解決したい」と考える、中地区の困りごとは、どんなことでしょうか？ \*選択肢の中から3つ選んで回答。



### その他のコメント

- ◎上下水道の整備
- ◎農地問題
- ◎田園地帯での生活の悩み

## 4. 地区の困りごと [年代別クロス集計]

回答者が多い順/上位 (項目表記は一部略) 選択肢から3つを選ぶ形式 (年齢無記入 15 件は除外)

| 20代 0名   | 30代 5名   |
|--|--|
| 該当なし   | 1 : 2名が選択<br>地域活動の担い手不足・農業の担い手不足<br>選択肢が少ない働く場所・買い物の不便さ<br>2 : それぞれ1名が選択<br>公共交通の不便さ・祭りや伝統芸能の担い手不足<br>地域の集まりや寄り合い・空き家空き地の増加<br>人口減少・子どもが外遊びできる環境の減少  |
| 40代 17名  | 50代 66名  |
| 1 地域活動の担い手不足 : 6<br>1 農業の担い手不足 : 6<br>2 公共交通の不便さ : 5<br>3 空き家・空き地の増加 : 4<br>3 人口減少 : 4<br>4 買い物の不便さ : 3<br>4 医療機関の不足 : 3<br>4 台風や大雨による被害 : 3                           | 1 公共交通の不便さ : 26<br>2 買い物の不便さ : 25<br>3 医療機関の不足 : 17<br>4 地域活動の担い手不足 : 15<br>4 昔からの風習 : 15<br>4 人口減少 : 15<br>4 台風や大雨による被害 : 15<br>5 地域の集まりや寄り合い : 14<br>6 農業の担い手不足 : 11<br>7 空き家・空き地の増加 : 10<br>8 道路状況の悪さ : 6 |
| 60代 128名   | 70代以上 184名   |
| 1 農業の担い手不足 : 44<br>2 地域活動の担い手不足 : 42<br>3 買い物の不便さ : 38<br>3 公共交通の不便さ : 38<br>4 医療機関の不足 : 32<br>5 人口減少 : 30<br>6 空き家・空き地の増加 : 28<br>7 地域の集まりや寄り合い : 16<br>8 昔からの風習 : 15 | 1 農業の担い手不足 : 60<br>1 買い物の不便さ : 60<br>1 公共交通の不便さ : 60<br>2 空き家・空き地の増加 : 49<br>3 医療機関の不足 : 45<br>4 人口減少 : 42<br>5 地域活動の担い手不足 : 34<br>6 地域のコミュニケーション不足 : 23<br>7 台風や大雨による被害 : 19<br>8 昔からの風習 : 16               |

## 4. 地区の困りごと [自由記述] 済み

選んだ項目についての理由や意見として求めたコメントを、原文のまま（明らかな書き間違いのみ修正）で、ジャンルごとに整理した。

### 1 | 地域活動やコミュニティについて

選択肢①地域活動の担い手・後継者不足、③祭りや伝統芸能の担い手・後継者不足、④地域の集まりや寄合い、⑤昔からの風習、⑥地域でのコミュニケーション不足・・・などについて

◎自治会を無くして欲しい ◎少子高齢化により、特に自治会の活動が出来なくなりつつあり、今後が不安です。空き家の増加により、治安、火災が不安です ◎地域住民の高齢化により地域の役員が重荷になります ◎限界集落になってきている ◎地域住民の高齢化が止まらない ◎コロナにより地域の集まりや寄合いが少なくなり、地域の祭り事が無くなってしまい地域のコミュニケーションが少なくなった ◎コミュニケーション不足には、世代間も含める ◎若い人が減って、今後の継続が困難になっていくと思われる ◎消防団への加入を強制的に求められる。発達障がいのある夫はパニックになることが明らかであり、代わりに妻である私が加入すると言うと、男が入るものだと言われる ◎地域の人ひとりひとりが清く正しく美しい心を持って行動をすれば、もっと地域がよくなると思います

### 2 | 農業の継続について

選択肢②農業の担い手・後継者不足について

◎若い人達が中地区にとどまり、農業や地域活動を活性化する ◎農地を処分したいが買い手が見つからないので困っている。国に引き取ってもらいたい ◎農業従事者ではありませんが、農業の跡継ぎは他地区に行ってしまう田畑は今後どうなるか？心配です ◎農業でその他の地域から田を借りて農業をやっている人のマナー。農業関係で不公平感がある ◎農業を共同化（社会組織）し季節にとらわれず働ける知識を・・・②⑬「解消」「解決」と考える ◎農地、土地の有効活用を市全体で取り組むこと ◎現在数名の人達で農地を維持管理しているが、70歳を超えている。数年後には中断することになると思われる、耕作放棄地となる。後継者は全く見えない ◎農道でも凸凹を直していただきたい

### 3 | 住環境について

選択肢⑦騒音などの住環境への影響について、その他

◎上下水道の整備 ◎上下水道がないこと ◎東西に走る県道で水の流れを止められている。川中を広げて流れを良くしてもらえないか。地下水を利用していますが安全性が気になります。早急に上下水道の整備を懇願しています ◎水道・下水道の整備 ◎市の水道が通っていない。共同井戸が老朽化してどうにもならない ◎田んぼの米と麦の藁を燃やして煙がすごく、住む環境ではない。また、家畜の異臭もすごい ◎（優しい相談窓口が欲しい）用水路の壁が崩れたり、塀のとなりをきれいにしているが、あまり対応、対処がないです。前から草やら木やら個人で対応しています ◎台風や大雨に限らず、逃げる場所がない

#### 4 | 人口減少や、空き家・空き地の問題

選択肢⑧空き家・空き地の増加、⑩人口減少について

◎子どもの人数が減少している ◎空き家、空き地が増えているのも気になります。荒れてしまうと害獣の棲みかになりそうで心配です ◎子どもが戻らないので空家になります ◎若者がどんどん減ってきて他へ行ってしまう。若い人たちが働くところもない。新しい住宅もたたない ◎一人暮らしの独身男性が多い。なぜなのか対策をとらないと益々人口が減ってしまいます ◎人口減少に伴う各種の急速な対応が必要です ◎人口減少、空家問題等 ◎小学生の数が少なすぎる ◎調整区域がなくなる限り人口減少は止まらない ◎行政サイドの積極的な関わりが必要である。(中地区の10年後、20年後を見据えて) ◎市街化調整区域をやめてほしい。10年後には近所もなくなってしまふ。(若い人が出て行ってしまい、残されているのは老人ばかり)

#### 5 | まちの治安

選択肢⑨治安の悪化について

◎金属の盗難が増えている。防犯の強化を！

#### 6 | ゴミの問題

選択肢⑯路上や公園などのゴミやゴミ出しのマナーについて

◎巴波川に車からほたる橋の上からゴミ袋を投げ捨てる。芝桜下堀にもゴミ袋・ペットボトルを捨てるので毎日朝昼夕自転車で点検してます ◎次点で⑳・・路上のゴミ 中地区に限りません 日本中？

#### 7 | 外遊びできる環境

選択肢⑫子どもが外遊びできる場所の減少について そのほか、犬の散歩や大人の居場所など

◎子どもだけで安心して遊べる場所ができれば嬉しい

#### 8 | 買い物

選択肢⑭買い物の不便さについて

◎買い物や医療機関他に行く場合、車の運転で移動しています。年老いる事が心配になってくる ◎病院が近くにないので困る。買い物もすべて車で移動なので不便 ◎近くにコンビニ、スーパーがほしい ◎飲食店の配達エリアから除外されていることが不便

#### 9 | 医療サービス

選択肢⑮医療機関の不足

◎新市民病院ってそんなにいい病院ですか ◎中地区の医療機関がなくなる

#### 10 | 公共交通/路線バス・おーバス

選択肢⑧公共交通の不便さについて

◎おーバスの便数が少ない。利用したいが駅での待ち時間が長い ◎おーバスがあっても本数が少なすぎ、老人なので近くにスーパーがあったらうれしい 歩いて行けるところに ◎通学の時間帯に小山駅

へ向かうバスがもう少し欲しいです。子どもの進学を考える時に悩みます ◎通勤通学時間帯の公共交通の利便性を良くして欲しい ◎家の周辺では公共交通機関が皆無で大変不便です。バス路線など、もう少しなんとかならないですか？車がないとなにも出来ず高齢者の免許証返納など、とても無理です ◎交通の便では、隣接市町への連結が少ない ◎車がないとどこにも行けない ◎公共交通の不便さの解消を切望します ◎運転できなくなった時にこの地区に住んでいられる自信がない ◎現在は50代ということもあり車の運転も出来ているが今後10年以降での交通の不便さを感じられる ◎高齢になっても運転免許を返納できない

## 14 | その他・複合的なコメントなど

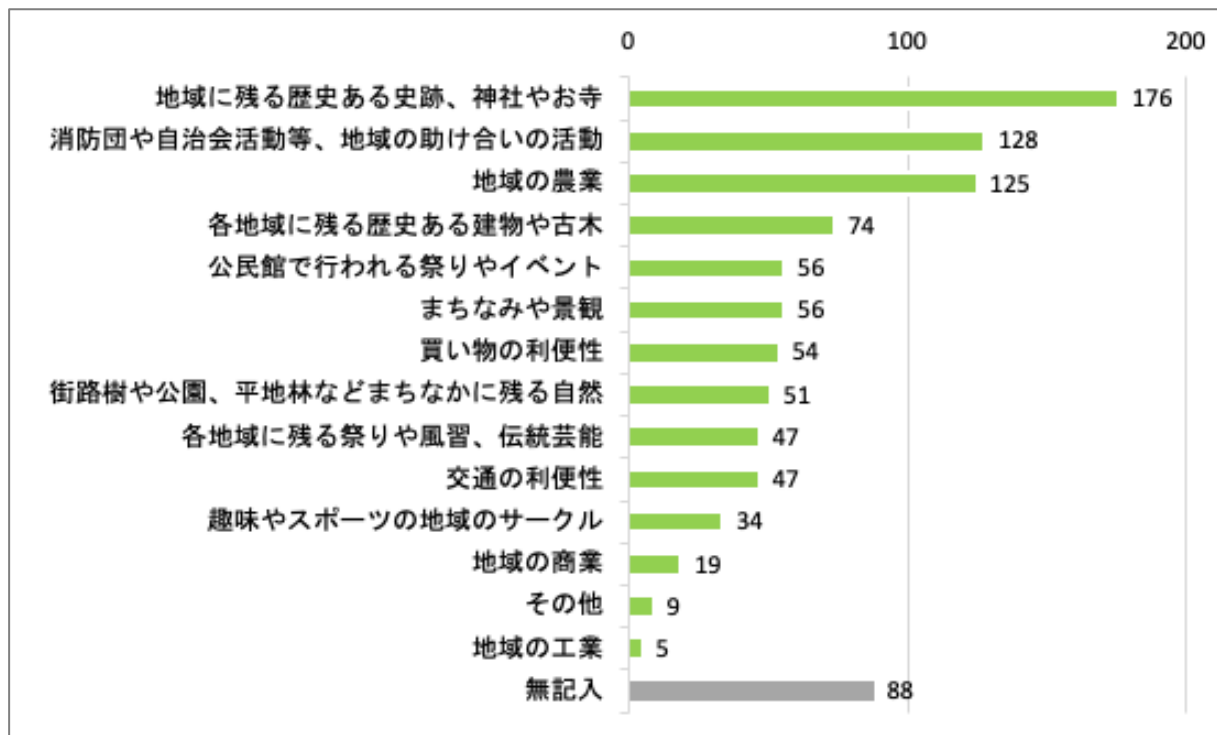
- ◎周りに何もありません
- ◎相続した農地の今後の方向性が決まらない。・子どもの結婚の将来性がない
- ◎農地を引き継いだが、現在近所の方に耕作していただいている。依頼されている方も大変だが、土地改良賦課金、税金の支払いがあるのに対価が何も無いことに悩んでいる。
- ◎1、昔からの風習が強く今の世代に合っていないことが多い。2、中地区だと買い物に行く手段がない。3、医療機関が少なく近くに病院がなく困っている。4、コミュニティバスも道の駅思川しかなくそこまでも距離が遠くコミュニティバスの停留所を中地区まで増やしてほしい
- ◎近隣に農場があるので、井戸水の使用に不安がある。農薬散布による健康面への影響が心配
- ◎①は消防団は必要なのか？⑧に関しては空き地、家の木々を整えて欲しい⑳ゴミ出しのマナーが最悪、袋を変えて、よくなるのか
- ◎中地区に買い物出来るお店が1つも無い・バスが運行されていない、されていても二時間に一本では・・・
- ◎⑭コンビニ1つしかない⑮6月で1つ病院が終わる⑯バスの本数が少なすぎ
- ◎上記①⑥⑭以外⑧⑩⑮⑯等挙げれば多分に有るのが実情である。極端にはカンフル剤を打ってほしい！相反しにぎやか過ぎても問題だが
- ◎社会が役所中心に動いているようなので、人もその方向へ流れる。栃木県も5市町が消滅するらしいが、小山市も合併前の町村は消滅の定義に当てはまるようだ
- ◎3つの他にも⑯も必要。高齢化対策をどうするか
- ◎国道50号バイパスが中地区の中心を横断しているにもかかわらず、市街化調整区域のため開発が出来ないのがとても残念です。この地域に産業団地を望む
- ◎高齢化により雇い手不足
- ◎この地区は不便さばかり
- ◎女性ドライバーは無くしてほしい
- ◎工業団地を作ってほしい
- ◎少子化、過疎化により地域活動に困難が生じている地域は、PTA、育成会、子ども会、自治会などの多くの役職が大変な負担となっている。可能であれば古くからの慣習にとらわれずに活動の内容を精査して地域統合も考え活動を存続できるように検討するべきだ
- ◎都市計画の用途地域に含まれない郊外の白地地域は土地利用に関する規制や生活環境保全の期成が緩やかであるためか、周辺環境の変化が大きく変わりやすく、迷惑な施設や建物ができてしまう。そのよう



な企業が点在するこの地域において、地元の小学生たちは蛍を川に呼び戻そうと長年にわたり活動しているということであるが、一部の大人の身勝手な姿には恥ずかしさを強く感じるのである。自然環境が豊かであった田園地帯が規制の目を掻い潜る偽善者たちの巣にならないよう、将来にわたり子どもたちも安心して暮らしていける町づくりに期待したい。アンケートを考え実施するには、多くの人手と予算が必要と思われる。市長と市議員は自ら地域活動に出向き一緒に活動して、市民の意見を拾い上げ、行政に活かすことが大事であり、お金をかけて「机上の空論」をするよりも「現場百篇」を強くお願いしたい。

## 5. 地区で大切に守りたいもの [単純集計]

【5】あなたが「大切に守っていきたい」と考える、中地区の「小さな自慢」はどんなことでしょうか？ \*選択肢から3つ選んで回答。



その他コメント

- ◎いちごの里
- ◎観光農園・県南市場
- ◎そもそも全てにおいて欠けている
- ◎地域の水道事業

## 5. 地区で大切に守りたいもの [年代別クロス集計]

回答者が多い順/上位 (2名以上の回答があるもの・項目表記は一部略)・選択肢から3つを選ぶ形式

|   |  |
|---|--|
| 20代 0名  | 30代 5名   |
| 該当なし  | 1：2名が選択<br>歴史的史跡や寺社<br>公民館での催事<br>残っている自然<br>2：1名が選択<br>歴史的な建築や古木・地域の互助活動・買い物<br>の利便性・まちなみや景観・地域の農業・地域の商業  |
| 40代 17名   | 50代 66名  |
| 1 地域の農業・・・10<br>2 各地域に残る歴史ある史跡、神社やお寺・・・7<br>3 各地域に残る歴史的な建築や古木・・・5<br>4 街路樹や公園、平地林など残っている自然・・・4<br>4 まちなみや景観・・・4<br>5 公民館で行われる祭りやイベント・・・3<br>6 各地域に残る祭りや風習、伝統芸能・・・2<br>6 消防団や自治会活動等、地域の互助活動・・・2<br>6 趣味やスポーツの地域のサークル・・・2<br>6 地域の商業・・・2                              | 1 各地域に残る歴史ある史跡、神社やお寺・・・20<br>2 各地域に残る歴史的な建築や古木・・・18<br>3 地域の農業・・・17<br>4 まちなみや景観・・・16<br>5 消防団や自治会活動等、地域の互助活動・・・15<br>6 街路樹や公園、平地林など残っている自然・・・13<br>7 買い物の利便性・・・7<br>8 交通の利便性・・・5<br>9 各地域に残る祭りや風習、伝統芸能・・・4<br>9 趣味やスポーツの地域のサークル・・・4<br>9 地域の商業・・・4                  |
| 60代 128名  | 70代以上 184名   |
| 1 各地域に残る歴史ある史跡、神社やお寺・・・58<br>2 地域の農業・・・50<br>3 消防団や自治会活動等、地域の互助活動・・・41<br>4 各地域に残る歴史的な建築や古木・・・26<br>5 まちなみや景観・・・20<br>6 各地域に残る祭りや風習、伝統芸能・・・19<br>7 街路樹や公園、平地林など残っている自然・・・17<br>8 交通の利便性・・・14<br>9 公民館で行われる祭りやイベント・・・13<br>9 買い物の利便性・・・13<br>10 趣味やスポーツの地域のサークル・・・10 | 1 各地域に残る歴史ある史跡、神社やお寺・・・77<br>2 消防団や自治会活動等、地域の互助活動・・・68<br>3 地域の農業・・・45<br>4 公民館で行われる祭りやイベント・・・35<br>5 買い物の利便性・・・32<br>6 交通の利便性・・・27<br>7 各地域に残る歴史的な建築や古木・・・23<br>8 各地域に残る祭りや風習、伝統芸能・・・22<br>9 趣味やスポーツの地域のサークル・・・18<br>10 まちなみや景観・・・15<br>11 街路樹や公園、平地林など残っている自然・・・14 |

## 5. 地区で大切に守りたいもの [自由記述]

選んだ項目についての理由や意見として求めたコメントを、原文のまま（明らかな書き間違いのみ修正）で、ジャンルごとに整理した。

### 1 | 地域のコミュニティ

選択肢④消防団や自治会活動等、地域の助け合いの活動について ⑤公民館で行われる祭りやイベントについて ⑥趣味やスポーツの地域のサークル活動について

◎各地区で行う祭りや風習を守り、人のつながりを強く保つ。各地区の結びつきを強くする ◎世帯数も少ないため地域の助け合いは必要だと思う ◎若い人が出て行ってしまうので、色々な活動が出来なくなってしまう ◎若い者の集落に対する関心がない！ ◎祭りや風習は希望者のみが行うもの。強制はいけない！ ◎場所的に静かなところに住んでいるが、地域の人たちとあまり会わない ◎人口減少により、地域の”おすそ分け” ”助け合い”等地域の支え合いが失われていく ◎集落の人口が減ると神社やお寺の存続ができなくなります ◎スポーツや地域のサークル活動を公民館が中心になって実施する ◎1、史跡や神社は別としても、地域にとってお寺は大切である ◎助け合いの活動 ◎「田園都市」のフレーズも外から見ればカッコよく思えるが集落が点在しており、生活者も含めての生活圈（高齢者対策）を加味した計画をお願いしたい

### 2 | 生活の利便性

⑦交通の利便性について

◎おーバスを増やして車に乗らなくても便利に動ける地区にしてほしい ◎そもそも交通の利便性も買い物物の利便性など無い

### 3 | 自然環境

選択肢⑨街路樹や公園、平地林などまちなかに残る自然について

◎特に田植えの後の田園風景（夜の月がきれいです） ◎農村地域を残して欲しい。静かで環境に良い ◎中地区には巴波川が流れているので、川の河岸公園の整備をしてもらいたいです ◎近くに日陰があり散策等できる整備された広大な自然公園がほしい ◎上下水道未整備だが、おいしい地下水が有るこの水を守り続けたい

### 4 | 地域の産業

選択肢 ⑩地域の農業 ⑪地域の商業⑫地域の工業について

◎お米がおいしい ◎県南市場があるので助かっております

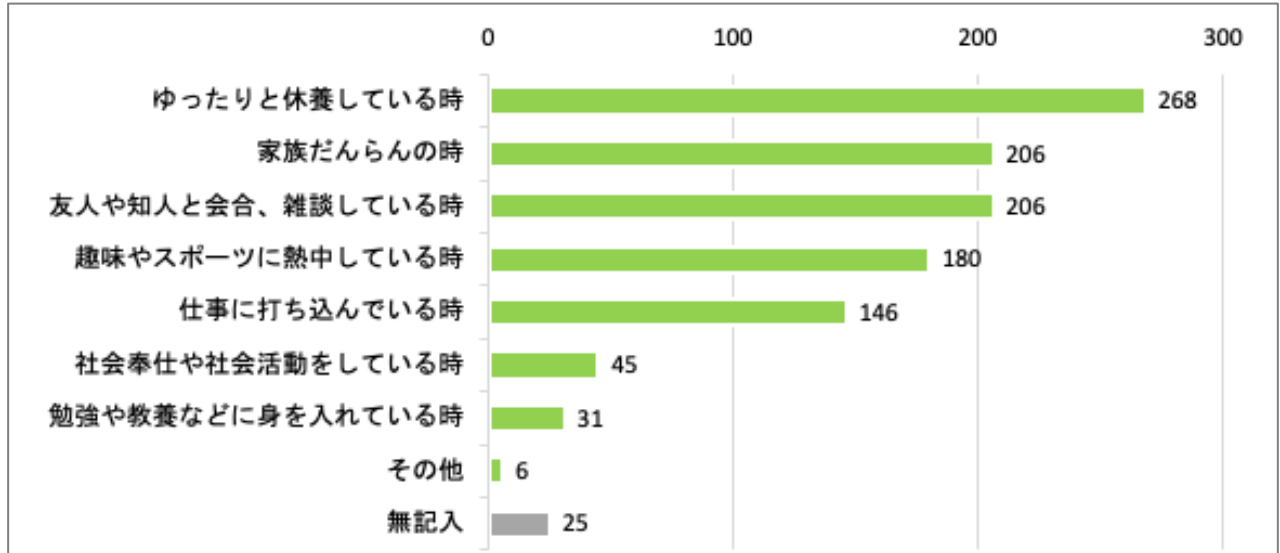
## 5 | 総合的コメントやその他のこと

- ◎何もないです
- ◎ない。景観（安全）さえ考えてくれず、木々がひどすぎる
- ◎見つからない
- ◎⑤以外なし
- ◎そもそも論で全てにおいて欠けているから
- ◎上記1項目程度で他は巴波川流域程度で他は無いと思っている カンフル剤として何か目立つ（これからでも）物の「新設」でも良いので・・・
- ◎高齢化と農業中心で特にありません
- ◎自慢するものはない
- ◎風景が楽しいです。自転車の貸し出しもあると良い。イベントやワークショップ、フリーマーケットのもっと身近でもあり、廻りからもイベントが来られやすいような土地づくり、ブースを無料化できる、優しい最新の企画があると、まわりからも、目に心にとまると思います
- ◎自然豊かなところ。水やお米がおいしい。純朴な人柄
- ◎水道事業の公共施設の設置
- ◎4も5も小学校での生活があって成り立つ

## 6. 暮らしの価値観 [単純集計]

【6】あなたご自身の日頃の暮らしの中でのお考えを教えてください。

(1) 日頃の暮らしの中で「充足感を感じる」のは、どんな時ですか？ \* 選択肢から3つ選んで回答。



その他でコメント記載があった方：5名

- ◎家庭菜園 ◎感じない ◎趣味の野菜作り ◎子どもと過ごすこと
- ◎毎日の仕事日々、仕事.家事.介護で心と身体を擦り減らしているから。

(2) あなたにとって「豊かさを感じる幸福な暮らし」は、どのようなことでしょうか？

豊かさや幸福の実現に「最も大切だと思うもの」は？ \* 選択肢から3つ選んで回答。



その他：コメント記載3名

- ◎家族と一緒に暮らすこと ◎健康ありきの生活 ◎教育（家庭教育、学校教育、地域社会教育）の充実

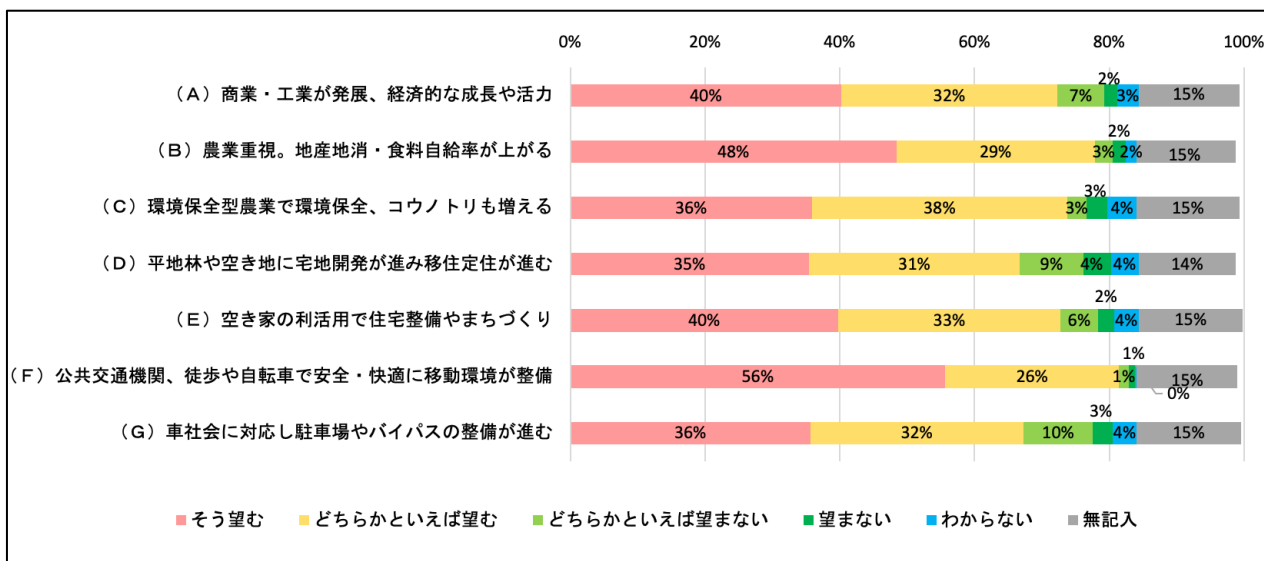
## 7. 望ましい小山市の都市環境のあり方 [単純集計]

【7】 最後に、小山市のこれからのまちづくりについて、お考えやご意見をお聞かせください。

(1) 20年後、30年後の望ましい小山市の都市環境のあり方について、ご意見をお尋ねします。

AからGそれぞれについて、選択肢の中からお考えに合うものを選び、番号を[回答欄]にご記入ください。また、そう考える理由や、実現のためのご意見などありましたら、(2)の自由記述欄にお書きください。

選択肢 ①そう望む ②どちらかといえば望む ③どちらかといえば望まない ④望まない ⑤わからない



支持・共感者が多い順（「そう望む」「どちらかといえば望む」の割合の合計が高い順）

\* 選択肢の文末「・・・小山市」は省略 \* ( )内の数字は「そう望む」の回答者の%

- 1 82% (56) (F)公共交通機関の整備や、徒歩や自転車です安全・快適に移動できるまちづくりが進む
- 2 77% (48) (B)地域の農業が大切にされ、地産地消が進み、市域内の食料自給率が上がっている
- 3 74% (36) (C)環境保全型の農業によって自然環境も良好に保たれ、コウノトリも増えている
- 4 73% (40) (E)空き家の改修や利活用が進み、あるものを大切にした住宅整備やまちづくりが進む
- 5 72% (40) (A)商業・工業が発展し、工業団地も増え経済的な成長や活力が重んじられている
- 6 68% (36) (G)車社会に対応して、駐車場やバイパスの整備など、車での移動が快適になる
- 7 66% (35) (D)空き地や平地林などに新しい宅地開発が進み、定住する若い世代や移住者が増える

\*年代ごとの集計は、20代から40代の母数が少なく、有効な比較ができないので割愛する

## 7. 望ましい小山市の都市環境のあり方 [自由記述]

ここでは設問(2)の記入者112名の回答をテーマごとに掲載。複数の項目の記述がある場合は分割して掲載している場合もある。また、明らかな誤りと認識できる表記は書き換えているが、基本的には原文のままの記載とする。

(2)最後に、お考えやご提案を自由にお書きください。

\*例えば、上記のAからGであげた例以外に、20年後、30年後の望ましい小山市の都市環境のあり方として、お考えがありましたら教えてください。

\*また、小山駅周辺の都市環境を持つエリアも、それを取り込む田園環境が広がるエリアも、バランスと調和がとれ、より良い関係を作りながら持続可能なまちづくりを進めていくために、小山市が大切にしていけるべきこと、具体的なご提案など、自由にお書きください。

### 1 | 都市環境のあり方について

#### 1-1 自然環境の保全や気候変動等への対策について

◎とても緑が多く環境の良い土地ですので、さらに発展してくれることを望みます ◎きれいな川、魚や野鳥などが生息し続けてほしい ◎まず巴波川の両端にヨシがはびこっているのを機械で根を掘り出さなければ非常に危険です。私が子どもの頃は猫柳と黄ショウブが川の両端にあり、蛍が飛んでいました。70年ほど昔でした。年に1回は川の機械清掃を実行してほしいです ◎小山市内にある川を大切にしてください

#### 1-2 田園環境と都市環境の調和・連携について

##### 平地林保全

◎平地林など緑をなくして住宅地開発はしてほしくない。空き家も多いので、それを活用し、若い世代の人たちが住みやすい小山市をつくってほしい

##### 田園環境と都市環境の調和

◎バランスと調和がとれるように、田園環境エリアの公共機関の充実、買い物できる商業施設をどんどん建てる必要がある ◎少子高齢化による人口減少で田園環境を維持できるでしょうか。2100年には明治時代と同じくらいの人口になると予想されています ◎田園環境が守られていくためには、農業を志す人が安定した収入が得られるような仕組みが必要である。国、県、市ともに色々な施策を出しているが、農業をやろうという若者は少なく感じられる。今後人口減少が進む中、食料不足となることが懸念される ◎田園地域に住んでいる者として車に集まる事が出来なくなっからの生活の不安が大きいです。どう取り組んでもらえるか、又、自分でどうするか常に考えています ◎商業・車社会等に対応した安心で暮らせる田園環境作り ◎田園地域では放置されている空家と休耕地の問題があります。そのよい解決のために、市役所で相談に乗る仕組みがあると良いと思います ◎田園環境地域にも公園を作り住宅



も作り、学校も無くすることなくバランスのとれた小山市にしてほしい ◎移住とかをすすめて田園地域の住民を増やしてほしい。おーバスは現在も有るけれど、まだ車が無いと不便。車に頼らなくても、買い物・通院が楽になるようにしてほしい ◎小山駅周辺と現田園環境エリアをつなげるには気軽にと環境を考慮すれば「おーバス」の増便と思われます。例え赤字であっても30分に1便程度としバスのみでなく商業との合計でのざっくり上での採算でプラスになれば良いのではないかと思います。かなりの時間と検討が実現に向けて必要と思いますが現状のスラム化的救済には不可欠ファクターとも思っております ◎自分自身それまで生きていれば、新しい田園環境が広がることは良いと思う ◎田園環境が多いと思います。商業施設や総合病院の整備など。小山駅西口→東武線新大平下駅までのLRTの整備。飲食店拡大など ◎都市環境と田園環境が明確に解かる整備、維持管理を行ってほしい。また、両エリアを簡単に往来できる交通アクセスの確保が不可欠。若い時は都市部で老いたら田舎で暮らしたい思いを実現するため ◎住みやすい小山市だと思います。これといった特徴はありませんが、魅力ある地域となるよう、大きな視野でもって町づくりをしていただきたい。微力だがお役に立てたらと思う ◎田園と渡良瀬遊水地を利用した観光都市。飛行船、小山未来号に乗って、ゆっくり観光。イワイノダイチと米粉を使ったおやまーパン、おみやげつきで。観光で財政豊かな小山市 ◎駅まわりだけではなく美田地区などの農業系の地域も、もっと発展させてほしい ◎地域を大切にす為、自然ある小山市であってほしいです。道の駅「思川」の近辺がもう少し開発されると働く所や人々が増え活気が出てくると思います ◎美田地区と城南、駅東等、比べようもない位、別世界。子ども達は家を出て、別の所に土地を買い、家を建てる。残った親は車も運転できなくなると、買い物も困難、生活も困難。孤独になり死を待ただけになってしまう。せめて近くに子ども達がいてくれればと思っても、市街化調整区域。早く考えて欲しい ◎・中地区にも大きなお店を・小山西地区（中地区）は他地区が発展しているのに比べ置いて行かれているような感じがしている

### 1-3 農業について

◎農業が発展するシステムを考慮してほしい ◎農業の後継者をJAと協議の上、しっかりと取り組んで欲しい。会社組織もよし。高齢者が増えライフラインをしっかりと取り組んで欲しい。現況では意味がない ◎営農組合の中心が70代です。この先後継者不足で耕作放棄地が増えるのが心配でたまりません。民間企業が農業に参入する前に、JA おやまにJA法人を立ち上げて農地を守っていただきたい。後継者のいない農家の願いです ◎※現在水田を所持しているが、親の代から農業従事者に管理をお願いしている。この先農業従事者の数も減少していき、管理もむずかしくなっていきます。私は農業の経験もなく、農耕機も所持していないので将来農地の耕作放棄等が発生しないか不安です。対策を講じていただけたらありがたい ◎調整区域を見直して、どこへでも家を建てられる地域にしてほしい。農業をした人が移住しやすいようにしたらどうですか ◎人口の減少、若い人がいない。農家の高齢化で、空家が増え、農地も手つかずの所が増えて、荒れた感じになってしまうので、農業を会社化して、若い人を社員として雇えばいいと思う。農業をやりたい人は一定数いると思います ◎可能性がある（信じられる）農業や（オーガニック）環境に優しい、そう感じるができることの大切さや農業、除草剤に頼らない新しい未来づくりはテーマであって、次世代への仕事。心をも豊かに育つなにかが必要なのではないでしょうか。忙しい情報のなかで楽しんで、調和もある程度とれる、調和性があると嬉しいです ◎20年後、

30年後？明日の事さえわからない。来年の桜の花が見られたらいいです ◎目標は高い方が望ましいが、実現するにはかなりハードルが高そう。身近な問題として農業の後継者問題は近未来である。一部放棄地を見るに、雑草が繁茂し、この状態が広がっていくことを想像すると心が痛い。法人化、経営等、行政も積極的に関わってほしい ◎行政や農協がもっと本気で、10年後、20年後、30年後の小山市の食料自給率を考え、策を講じていかないと手遅れになる。地域住民の努力に頼っているだけでは、解決にならない ◎中地区等農村地域はこれから人口の減少がますます進むと思う。特に若者の減少が著しくなり、現在の集落が成り立たないことになるかもしれませんね。小山市全域のバランスを望むことは難しいと思いますが、公的なインフラを整備することはもちろん、人との交流の場を増やせる様努力が必要だと思います

#### 1-4 商工業の誘致と振興について

◎小山市の商工会が合併して何年か過ぎましたが、私の考えとすると、商工会議所と早く合流した方がよいのではないのでしょうか ◎・近くに働くところがあり、地元から離れず生活基盤が築ける。働く所は農業や製造業、サービス業、商業、お店などを誘致。・食料品など買える所が近くにあり、いつでもすぐ買いに行ける。また、電動カートでも行けるように道路の整備や交通システム（バス、タクシー、だてぼらなど）を作る。・地元ですぐに行ける病院、医療機関がほしい ◎仕事帰りに寄れるスーパーが欲しい。道の駅以外にスーパーがあると便利だと思う。ここにいると太平か小山の町に行かなければならない。車が乗れなくなったら買い物などどうしたらよいか不安になる。南小林にも商業施設がほしい ◎人が集まる屋内のイベント会場が欲しい（スポーツや音楽、展示即売会等で使える会場）。駐車スペースも相当数あるといいと思います。たとえば宇都宮でいうとマロニエプラザやライトキューブのようなもの

#### 1-5 都市部の開発と生活環境などについて

市域全体について

◎(A)と(B)の二本立ての均等のとれた小山市を 商業・工業地域・農業地域を決める。田畑を共同化し面積を広げ機械化する ◎現在在住している中地区も人口減少が著しく進んでいる。県外からの転入もなく、自然消滅も危惧される。(中地区だけではないが) 現在の在住宅を再利用し、転入しやすい環境作りを行い、衣・食・住の見直しを含めた生活圈を確立して頂きたい

JR 小山駅周辺について

◎小山には観光客が来るような場所が駅周辺にない。自分自身も休日を小山で過ごさない。新幹線も停まるのだから、もっと駅周辺を変えたらいいと思う(鹿沼や栃木などのように) ◎駅西側(思川西側)の農家が多い方の高齢化が著しく、今後どうなっていくのか心配。若い家族が増える気がしない。自分は祖父母が高齢の為戻ってきたが、この先人口減少によって治安の悪化等マイナスな未来しか見えない。海外から働きに来ているような方もよくみかけるようになったので、現に近所で立て続けに高齢者だけの家が盗難に入られている ◎駅西開発を早く進めて欲しい ◎高齢者が中地区から駅周辺に快適に移動できる交通手段を整備してほしい

## 空き家・空き地の問題

◎近年、この地区も高齢化が進み、どんどん空き家が増えている為、今後10年～20年後が恐ろしく、今から市の空き家対策に力を入れてもらいたい ◎空き家問題。これから増えるので対策をお願いしたい。このアンケートでどれだけの予算が使われているのか？公表をお願いしたい ◎人口減少が続くなかで、空き家の増加と農家の減少による耕作放棄地の増加による空地の利活用することも重要かと思われます ◎空き家の改修や利用で地域の活性化がはかれれば良い

## 2 | 移動と交通について

### 2-1 おーバス・路線バス

◎おーバスの停留所が遠く、本数も少ないので、老後車に乗れなくなった時の交通手段が心配です。街灯も少ないので夜も暗いので、活気のある街並みになってくれたらと思います ◎おーバスも通らない地域に住んでいると免許返納後の生活が心配です。デマンドの利用やネットスーパーも考えていますが、もう少し自由に利用できる交通手段が充実すると思います。中地区には、だけボラという助け合いの仕組みがありますが、それらを担っているのも同世代の方達です ◎おーバス利用について おーバスの回数が少ない事で困っています。小山駅より思い川道の駅廻りのバス(10:45～14:15)の間が無いことに不便しています。又小山駅方面8:00代があると便利だと思います

### 2-2 高齢化社会と公共交通の整備

◎高齢化に伴い公共交通機関の整備 ◎高齢者の車での事故が増えているので、これからますます増えていく高齢者が運転をしなくても生活が出来るように公共交通機関を少しずつ増やしていただくと嬉しいです。買い物や病院へ行くのに苦労している方のお話を聞くことが多くなってきました。確実に高齢者が増える未来を想定して町づくりを進めて頂けたらと思います ◎買い物する場所が中地区にあると良いのですが。中地区は高齢化が今後進むため、公共交通機関(バス)の整備が必要。バスの本数が増えることを望む。(提案)ですが、いちごの里の中に生活に必要な食料品売り場があると他の地区で買い物することがなく、地域の活性化になると思われます ◎近隣は田畑で免許返納後の交通手段がありません。その点についてきちんと考えて頂き具体策を講じてほしいと思います ◎スポーツ施設と、老後、車の運転ができなくなったときの交通手段を考えてほしい ◎年齢などで免許返納する人が増えると思いますので。交通手段の確保を充実させて頂きたいと思います。田園の中にも病院やスーパーが出来て買い物に便利になる事を願います ◎小山市西地区(穂積、中、寒川等)には大きなスーパーもなく買い物が不便である。車が乗れなくなった時の食料品等生活必需品の買い物がとても不安である ◎田園地域の住民は駅に行くのも買い物に行くのも病院に行くのも生活するにおいて不便です。公共交通機関の充実することや、食品や日用品が近くで買えるお店を田園地域にも対応出来るように小山市として前向きに動いて欲しいです。高齢者にもやさしい小山市になって欲しいものです

### 3 | 生活環境や福祉などについて

◎上下水道も通らない見捨てられがちな地域に長年暮らしていますが、せめて血税が有効に使われていると感じられる小山市にしてほしい ◎私の家は井戸水です。同じ税金を払っているにもかかわらず上下水道は通っていません。西地区へりの南小林は20年後も何も変わらず無人になるだけです ◎中地区には上下水道、都市ガスがありません。何故？ 駅近辺の開発（整備）にお金をかけすぎではないですか？ 同じ市民なのに受けられる住民サービスが違い過ぎないですか？ これを解消しないと調和のとれた発展は無いです ◎地域全体に市の水道が行き渡るようにしてほしいです ◎台風、大雨、水害の整備望む！ 命にかかわるから

#### 3-1 教育、子育て世代・若い世代について

◎子育てしやすいこと ◎出生率が上がり子育て支援の充実 ◎小山市のどこもそうだと思いますが、子どもの人口増加を願っております

#### 3-2 高齢化社会について

◎環境を守りながらのコンパクトシティ、高齢化社会に対応した都市 ◎高齢者が活躍しないで生活出来る ◎これからもっと高齢者が増えていくので良い環境の生活が送れるように、公共交通（タクシー、バス）、コミュニケーションができる施設（1人ぐらしが増える）、スーパーなど便利な中地区にしてほしい ◎今住んでいる所は、年寄りが多く若い人があまりいない この先、今の地域がどうなるのか心配です

#### 3-3 地域コミュニティ、共生社会について

◎若い人や、外国からの人が魅力的に思える小山市 在住の人が心豊かに暮らせる小山市になって欲しいと思います ◎コミュニケーションの場を作る事が大事かなと思います。地元の特産品や何かのテーマを作り、関心のある人の気軽なおしゃべりの中で、色々なアイデアや問題点(?)等が出来てくると思います

#### 3-4 安全・安心な環境について

◎女性や高齢者が安心安全にらせる小山市であって欲しい。高齢者が住みやすい環境でないと、小山市に住み続けようと思う若い人達はいなくなる。子ども達も減っていってしまう ◎生まれ育った美田地区が大好きです。20年後、30年後、笑顔で暮らせるようにできたらいいなあと思います。高齢者が安心して暮らせるように！ ◎高齢者が安心して住める、いつでも入所出来るホーム施設の充実。子どもの天国、公園、遊び場、保育の充実を目指して欲しい ◎安全で災害に強いまちづくり ◎私の家の回りは街灯も下水道もありませんけど、どういう事でしょう？ ◎深夜のバイパスに於ける、車両の空ぶか

しによる騒音対策(防音壁)をしてほしい

#### 4 | 以上に分類されないご意見、現状に対する要望、暮らしてみても感想など

◎小山市の歴史本を各家庭に配布して頂きたい。また市役所のどの課に行ってもいいか解らない。簡潔な冊子が欲しい。いずれにしろ上記の事については人口減少の為、今までのような事ではなく行政を含め、考えてもらいたいです

◎77歳になる私に20年後30年後のアンケートをとってもいかなもののでしょうか？もっと若い人達の考えを聞き、今後の望ましい小山市の都市環境のあり方をきいてはいかがでしょうか

◎20年後、30年後とはずいぶん時間がかかりますね、せめて5年後10年後を望みます

◎政治活動している人達のお金儲けでなるのではなく、本当に小山市民のために働く、働きたい人が政治家になればもっと良くなると思う。自分主義の議員が、政治家が多いと思う

◎目が不自由です。この先、見えなくなったら中地区で暮らすのはとても困難な気がします

◎子ども達に夢や希望を持たせすぎて小山から離れていってしまう。家族も一人暮らしが増えて、昔の様な暮らしがなくなっている。世の中の成り行きで仕方ないのかもしれないが淋しい現代だと思う。中地区は子どもが大変少ない。このままではこれから先、町として成り立たない気がする

◎立派なスローガンに見合った中身のある施策。市独自の待ったなしの少子化対策

◎各地区の役員さんにお任せする

◎人口減少を止めなくては行けない。産業廃棄物の山をどうにかしてもらいたい。小山から栃木へのバスを走らせてもらいたい

◎国、県、市、各議員、市長などと気楽に会食しながら自由に会話できる事があれば良い

◎今現在、さほどの伸び率のない小山市に20~30年後の夢など持てない。前市長が残した負の遺産がおそらく未来に影響するであろう。前市長時代の市職員が思考を変えない限り小山市は豊かにならないと思います。(地域住民もおべっかする人が多かったから)

◎小山市に住む住人が、楽しく生活出来る環境を考えるため市民の声を聴く機会を週に1日程度設けて出来る事は実行する

◎明日のことなど判らないので、今を大切に生きることが重要と考えます

#### 5 | これからのまちづくり、未来ビジョンへの総合的なご意見

◎私の住む中地区では美しい水田が広がり、台風が来ると荒れる巴波川が地区を蛇行しています。今後20年後30年後は私は生きていないと思いますが、私の子ども、孫が今生活しています。まずは平和で、そこそこの豊かな生活がこの中地区で出来ればと思います

◎交通は便利でもただ、通過点ではなく、小山を目的に県外からも人が集まるような商業施設や観光地を作りたい。道路は四季を通して草花を。道の駅などは、田園風景を生かした展望台を設置して、富士山の夕日、山の朝日、日光連山風景などアピールしていきたい

◎20年後とは云わず近いうちに農地は山林になる。ある地区では30年前水田だったところが山林になっている場所が多く見られる。小山市もそのうち山林が出現するだろう。担い手さんが頑張っても1人

では何もできない。地域の人がいなくなれば水も来なくなる。田畑の地権者さんは誰もが貰ってくれる人はいないと言われる。今は買う人も貰う人もいない。賦課金、固定資産税が負担になっている。今は小作料で賦課金が賄えない場所もある ◎田園地域は少子化が進み若い力が不足している。デジタル化でついていけない高齢者もいるので、各公民館の今以上の充実が必要になるかと思います

◎水害対策の充実・おーバスの便数増加・高齢者向け移動販売

◎空家ではないのに持ち主が整えてくれない。市議の高齢化の中で、高齢の方々の考え方で進めていく今日に何を望むのか。一票の力もない今日、子ども達には他市町村に住んで欲しい

◎美田地区にも、スポーツ施設、文化施設がほしい・50号線に商業施設がもっとあってもよい・美田地区に工業団地があってもよい

◎車や移動手段は新技術(AI等)を積極的に導入して、先進的町づくりを進めてほしい

◎治安が悪化することがなく、子ども達が外でのびのびと遊べる環境が望ましい。可能であれば交通のアクセス(巡回バス等)が充実されるとありがたい

◎20年後、30年後を考えるより現実に直面する課題に取り組む事が大切だと思う

◎住みやすい環境 開発されない農村地域 コンパクトシティ

◎とにかく人がいなくなると、思う様な事が出来ないと思います。過疎をなるべくなくす事が今後の目標だと思います

◎県南の中核都市としての公共機能を充実し、栃木県に『小山市在り』を目指したいと考えます